……の際一般の……を禁止する布告を發したと云ふので……では非常に兇……つて居る然し目下の所では佛國西亞か何の……に斯る手段を取つたか其詳細の來るを待つて居ると

京城日報

邦人土地所有問題を解決の爲め澁澤子の渡米

……されてゐるが殊に今回の大震災の……決定が在留同胞に對し極めて不利……な……であるが……

【東京電話】加州の邦人土地所有……問題を解決の爲め渡米すべき……

（朝夕刊合せて十頁）

一ヶ月 壹圓……
發行所 合資會社京城日報社
電話 ……番
振替京城……番

支那に進出せよ

貴族院議員 山脇玄

總ての事柄は最近漸くデモクラテイツクの色彩を帶びて來たが、經濟上、社會上或は家庭の實際に於て舊態依然たるものあるは甚だ遺憾とする處である。例令ば經濟上に於ても官憲萬能の弊風を今だに遺し苟もあらば政府に倚らんとする風があるは大なる時代錯誤である。歴代の內閣何の爲す處なく國民又斯くの如く退嬰的であるならば其結果や知るべきのみである而して我國の國富を增進し國力を充實せんとするには從來の如く農業立國策では不可であつて商工業立國に依らねばならぬ。商工業を以て國を富まさんとせば勿論商工業の發達を助長せねばならぬが夫れには先づ化學工業を盛んにせねばならぬ、而して化學工業を盛んにする上に於ては工業試驗所の如きも大に充實するの必要がある、現在工業試驗所は東京大阪の二個所にあるも前者は三十萬圓、後者は三十七萬圓位の經費しかないのである、斯の如き微々たる經費を以て工業の發達誘導に貢獻なきを得るであらうか、斯くの如きは云はずして明らかなる處である、化學工業を盛んにするには技術の進歩に俟つ處が多いが、一面原料を有利に得らるゝと云ふ事も其資格の一である、而も我國は工業原料に乏しく從來は之を輸入に仰いだのであるが、之は種々の不利なる點を伴ふので今後は支那に之を求むべきである。

支那は周知の如く原料極めて豐富に且勞力も必要に應じ求め得らるゝのであるから、今後は唯支那に原料を求め之れを輸入すると云ふ程度に止めず、我國は資力と技術とを提供し日支共同して彼地に工場を設くべきである、之は今や行き詰りを來さんとする我國工業界に新生面を開く唯一のものであつて、斯業は宜しく我實業家の提攜によつて實現を期し得るであらう、此結果は日支兩國に同じく利益を齎すべきであるから時々紛擾を見つゝある日貨排斥の如き國際實業家の提攜により之れ無きを期し得るであらう、之が實現は政府の力のみを頼つて居たのでは不可能で、國民と國民とが直接に結び付く處に偉大なる意義を存するのである。我國今日の如く政變常なき有樣では外務大臣が取扱所で用ふる術語をすら知らぬ位である、又假令之を覺えても其時分には既に退任すると云ふ順序になるので、經濟的方面に對する智識は甚だ淺薄なるを免れない、故に經濟の事は一に實業家自ら事を行ふの意氣を以て之に當るべきである。

朝鮮史料（下）

太白山本光海君日記

（六十八冊）本府學務局分室藏

政院傳教

慶尚北道安東郡豐南面河回洞柳承佑氏藏

柳成龍に與へたる承政院教旨で萬曆二十年（文祿元年）より同三十五年（慶長十二年）乃ち成龍の歿する年に亘りて之を收め、壬辰役時代に關する貴重なる根本史料である中には萬曆二十一年（文祿二年）三月二十五日付日明講和談判に關するもの、及び萬曆二十五年（慶長二年）八月十四日付、南原城攻擊に關するものなどがある。

宣祖教書

慶尚北道安東郡豐南面河回洞柳承佑氏藏

萬曆二十四年九月九日、宣祖より故山に歸臥せる柳成龍に與へ、再び出で仕へ、以て軍國の大事に膺らんことを懇したものである文中に「雞林北豐の……」の句がある以て宣祖の寵信の篤きを見ることが出來る

殿錄禮曹判書

慶尚北道……

……を史庫に秘藏した、この日記の成るとき恰も滿洲東京城內外を襲うた時で、戰亂の際、豫定の四部を作ることが出來なかつたため、草稿本を假裝して、纔に數を充たし、之を太白山史庫に收藏するにとゞまつたが、本日記の出來であつて、李朝時代の修史の慣例を察することができる、此草稿は水で濕潤し、もしくは焚却して其痕迹を留めない、之を澁草と云つた二十餘代五百年の記錄の原料

各項稿簿（一冊）

朝鮮國來書簿（三冊）

……奉天宮……

奏疏稿

……

滿洲朝廷が興る時に於ける朝鮮國との往復文書である

淡の孝文廟鍾寫眞

原品平壤中學校所藏

淡の半島に於ける植民地の主腦なる樂浪郡治の朝鮮縣に設定せられた天子の祠廟の一である、孝文廟に附の祭器である銘識に永光三年六月造とあり今を去る千九百六十餘年前に半島に於ける最古の記錄である

李退溪筆李氏財產分與帖及李宗道（退溪の孫）筆退溪遺言狀

慶尚北道安東郡陶山面土溪洞李尙鎬氏藏

李退溪の父（李埴）既に歿した後、母、遺產を其の子女に分與した時のもので退溪が八歲のときの記であるが、退溪遺言狀は孫宗道の記である

茶

日本人の癖として茶を極度に嗜好する點がある。家庭に於ても來客の時はすぐ茶を出すことを一つの禮儀として居る。故にお茶好きになると朝夕いつでも飲む。此習慣はやがて夜深更迄遊んできて歸る前に喫む此茶好きが進行すると何でもないことだが大に閉口すると云ふ話もある。

向ふでは茶を出す時でなければ出さぬ、いつでもと云ふ譯に行かぬ妙なもので無いとなると尙ほしくなるからね。最も水だけは室に備へ付けて置くけれど

間違ひぢやないか

値が騰落し、又一般に彼等が如何に彼の地を亂したかと想像されるそこへ行くとドクトルは非常に信用があつた安心して泊つてくれ世話もしてくれたことは嬉しかつた

獨逸が安い〳〵と思ふてゐると安くない話があつた。恰度或る日本人の夫人がお金をするとき、叔父さんが相談をせなかつたのだ、どうせ大した額ぢやあるまいと見くびつて居た。處がいよ〳〵勘定となつて英貨六十ポンドかの請求書をつき付けられてびつくりした。獸しま數字の一萬位の間違ひぢやありませんかと糺して見た。處が間違ひぢやありませんとの答へだつた

別天地

東京より 目黑行人

◎ほつておけ地球はひとりで回轉する」人の意で天體の運行を左右することが出來ようとは思はれぬが世の中、社會共他のことも、ほつておくとひとりで何とかなつて行きさうに思はれる。さうやきもきするにも當るまいと云ふ感じもする。

◎過日會我廼家五郎と云ふ千本の俳優が我家五郎と云つて中々忍らしたことのある人が八十二歲の高齡に達したからといふので祝賀會を催したが、今度はまたこれも千本で舞臺の三週間をやつた一俗名椿樓が樓の一時間を演じたイヤ自覺した。

◎だが、これは戰に老齡だから引込むといふのではない。憲政の運轉に座轉するに忍びず、憲政何かれて三十餘年ぢや大正の今日二度も三度もコンナ護憲運動が出來てたまるものかと云ふのである。デ昨年の三派合同で、御存知……で護憲運動の神にでもなりかねまじき權幕！

◎乃公は曾つて高橋是清にさう云つた。君は政黨の形を作つたから君はその魂を作れ。二百八十と云ふ頭數を纏めるばかりが能ではない。政黨の精神を吹込むのが君の役目ぢや……と加藤（高明）にもさう云つた。茲に二つ政黨がそれ自身が共同の目的に向つて共同宣言をやつてはどんなものぢやらう。

◎これに動かされた譯では無論あるまいが、高橋子は十五日夜目黑邸に於ける政友會幹部會に於て、過般來黨內外の疑惑となつてゐた一決意」に就いて語つた。行變に入つて人をアット云はせた。列席の幹部中には涙を催して號泣した者もあつたとか——何處かの寫眞に類するものでもあるまい。

◎自分は大局より見て現內閣を擁護することは出來ない。ついては此際爵位を返上し華族の列を去つて來るべき總選擧に衆議院に議席を持つやうにしたいと云ふのが決意の骨子である。政治運動が先づ起つてこれが惡化すると社會運動となることもになり更に惡化すれば革命となる。此人が斯る事を思つたのは後れたりと雖須附かざるよりはよい。

◎サア此次は誰の番だ。遲れて馳をかかな（一、一六）

外遊土產話（四）

石原公州……醫院長談

美術家と畫家

戰後、獨逸の勝落から、獨逸へさへ行けば安價に生活出來ると思ふたものが大分多くなつて盛んに入國したものゝ中には案外が想像と異つて失望り相當の經費がかゝるに入獨せ本人の中でもいかさまの人等があつて隨分貧料をふんだり、食ふに食はれぬ人等があつたと見えて、宿をとるとき必ず美術家か畫家にあらずやと質問を受くる程左樣に美術家畫家の信

露營少年團

獨逸の少年の尙武とか身體鍛錬とか云ふことを盛んにやつてゐるのは感心である。休日になるとすぐ五六人連れで郊外に出る。各々背囊や鍋を提げ食料を入れて不規で露營してくる。盛んに郊外や山野を跋涉し、體を練り歩くのである。殊に夏季休暇にでもなると到る處で此の露營隊に會ふ。

これだと思ふね、かの歐洲大戰に世界驚歎を向ふに廻してあれだけの間題を持ちこたへたのは一は此の少年の頃からの教育の方法が大に與つてゐるのである斯う云ふ國民の團體であるから少し位の風雪や困難にはもとより不屈で堪ゆるのである

種の話

◇感心な白十大工◇ 米國オハヨー州カントン市のジヨーン、テーラーと云ふ大工は幼少の時失明し爾來今日に至る二十八年間何にも見えないのに拘らず斧を鉋を確かに打つばかりか既に家屋を六戶建設し最近又自分の家に壁を建てゝ増加したが彼れは家を建てるに當りあらゆる仕事を少しも人手を借らず何でも自分一人で成し遂げるさうである

◇ダイナマイトで氷山破壞◇ 米國より歐洲に到る大西洋航路に時々大氷山が流れて來て航海を脅すがあるこんな場合米國巡邏船が發見すれば直に氷山の本部に急くダイナマイトを差込導火線に依り爆發せしめ氷山を破壞してゐるが大氷山が四方に解け散る樣は何とも形容の出來ない壯觀であると

早稻田大學

六大講義

政治經濟科 法律科 文學科

中學科 商業科 高等女學科

完全に發行されてゐる本邦唯一の講義錄

各科とも見本を送ります

東京牛込 早稻田大學出版部 電話牛込三一四一一五六

料理の友

二月號出來!! 婦人と文化 美麗寫真版百廿餘頁 彩色木版 每月挿入

婦人參政 聞よりも婦人自からの向上を要す（安部磯雄）
生活の改善は服裝の改良から（三宅やす子）
將來の教育は實際的なるを要す（小縣長）
流行に支配される女と趣味に生きる女（高須芳次郎）
梅の名所の話
……
御成婚を祝ふ家庭の小宴
……
初春のお惣菜 西洋一品料理
……
日本料理
……
燕は歸る（長篇小說）
……
東京上大崎中丸 大日本料理研究會

最新簿記講義錄

校則內容見本（無代進呈） ●東京芝區琴平町 大日本簿記通信學校

日本自動車學校

東京蒲田驛前（ハガキにて申込次第學則入手進呈）

自動車に志す人は躊躇せず實地本位責任養成する……三ヶ月卒業各大會社商店の事務員と就職の紹介を爲す

赤い鳥

二月號 童話、童謠、少年劇、自由詩、自由畫の權威

▼悪狐……鈴木三重吉
▼われもかう……北原白秋
▼スキー（油繪）……鈴木淳
▼子供の村（曲譜）……弘田龍太郎
▼正直もの……小野浩
▼豆の煮える間……久保田万太郎
▼自由詩……北原白秋選
▼綴方……鈴木三重吉選
▼自由畫……山本鼎選
▼幽靈船……長田秀雄
▼椰子蟹……宮原晃一郎
▼アキリーズ……野上彌生子
▼感冒の話……橘卓郎
▼チックと猫……安成二郎
▼海から聞いた話……宇野浩二

東京市外高田町目白 赤い鳥社發行 振替東京二九四六 送料共卅六錢

式辭演說資料 寄問演說集

マボケット形三百頁 定價七十錢 引換送料十四錢

平素よく辯舌ある人も一度壇上に起ちては一言半句も出し得ざる人多し、之れ平素練習の不足の爲に依る呼吸を呑込めば如何なる素人も直ちに堂々たる雄辯家となり得べし

●新年宴會、忘年會、送別會、招待會、青年團會、雄辯會其他社會百般の大小宴會集會に於て一寸一席の演說資料を參考書として本書は尤好評なり、ハガキで注文あれば代金引換八十四錢で即時送本す。

●大阪北區北野小松原三六二 錦榮堂書店

法學博士 末弘嚴太郎著

嘘の効用

十五版

定價二圓五十錢 送料十七錢

時代より一歩進んだ立場に於て時代世相を見んとする人々に必要の書。私どもは本書は總ての常識、總ての國民に必讀さるべき『國民讀本』だと思ひます。國內の保守的分子が優勢な爲に法令が移りゆく社會人心の傾向を追隨出來ない時に『法令』と『社會』との間に溝渠が出來ます。その『法令』と『社會』とを調和せしむるものは唯一『噓』あるのみです。そうした深い寓意と使命とを以つて書かれた本書が破天荒の讀者を得つゝあるのは當然です。

發行所 東京芝區愛宕下町 振替東京八四〇二 改造社

講談雜誌

どこでも眞似の能ない極度の廉價で萬人に娛樂と慰安を與へる理想的雜誌、三百數十頁で定價僅に三十錢（稅一錢半）

捕物 蜜柑寺の平打 旗本吉野政之助と伊丹屋の娘の繪詰めでたく纏まつて劍術の催しの夜、闇から一本のお膝は惜くも殺されてゐた（高楠草丹）
寬永心中 菊池半九郎 可憐な女にかけた情が人の怨みをかひ武士の意地の少ない他の命のとりやり、遂に恋の二人は邪惡の世へと……（內藤新太郎）
關ヶ原の合戰に敗れた三成、行長が京都六條河原に打首になつた其夜、磧の闇中につゝと立つた大男があつた……（深川亂也）
塙團右衛門 首盗み
お道 酒匂川氾濫 松太郎十八の花の盛りを水神のいけにえとして酒匂川架橋の人柱に底深くも沈められた美しいお道に纏はる悲惨物語……（泉斜汀）

佐竹騷動 妲妃のお百 後家お民に旅心の一席（桃川如燕）
七之助 小猿 手代殺し 殺した手代の弟（中川慶太郎）
若永講談 和泉屋の娘 高野長英に絡む出來事（神田伯山）
女侠客 講談 大 豪 傑（秦夫） 切髮お登喜（貞山）
大正名家 倶樂部 甘 栗 毛（井上昌夫）
先番 蜜柑小舍 母の仇を父と眺ふ因果（三木郎）
大活劇 大奇談 踊る木乃伊 紙片の文字の怪しい謎（春木郎）
戰國秘事 蔦葛木曾棧 山中の奇しい遭遇……（國枝史郎）
奇譚 燃える石（長二郎）
短篇十七篇 大遣難吟（生田蝶介）
戰國武士 海野能登守（荒三）
自來也山 黑姫の呼笛 の怪しの……（白井喬二）
川家康の神文 秀吉の……（尾形）
五千年 神變草紙 不老の泉から……（花之村）

文藝倶樂部

◇二月號◇ 『面白くて廉い』といふ實質の優秀は滿天下の認むるところ、果然！同誌を壓倒する大好評

內容も頁數も定價も他と比べて下されば如何に讀者の利益を本位にしてゐるか明瞭します定價一冊六十錢（稅二錢半）

壯絕無比 神か鬼か （斷ふし遍い娘その娘を慕ふ兄弟、兄をも殺す……）（石井加一郎）
◇小妻清吉（寶録講談）……（燕山人）
◇お蝶ちやん（寶録小說）……（櫻木文哉）
瀨川清三郎 （……三遊亭圓右）
◇強情くらべ（新作落語）……（柳家小せん）
◇魚屋の茶碗（新作落語）……（入見家四……）
滑稽漫遊 助さん格さん 東海道をヅラリ〳〵湯元に下り……（小金井西洲）

特選讀物 人情 三大 奇談
長篇奇談 生菩薩院（瀧原昇）
群木奇談 奇縁六地藏（日葵之助）
大奇談 天下迷惑（美婦亭）

男女大講談 江戸の三十三間堂（花圓……）
說明講談 縄抜けの傳授（昇龍齋貞丈）
珍談妙話 お出額の悲しみ（……大郎）
滑稽 奈良屋茂左衛門（……丹二）
寬永大盗鎧 鬼神齋（丘泰春）
血氣三勇士 山賊と海賊（……）
仁侠奚譚 眞の男氣（……）
滑稽怪談 幽靈の紋附（瀨川……）
滑稽落語 間違ひ算（……）
佐渡金山 魔の井戸の宝（……）
侠客 神通軒清兵衛（……）
家代劇 鎌倉の別荘（……）

駒鳥小說 月光の曲 長篇漫畫 たから船 滑稽 恋人さがし 滑稽講談 高山彦九郎 寸珍漫畫 兩雄新對面 漫畫 苦笑と恐縮 珍談 大呑大食ひ 九星判斷 今月の運勢

東京小石川戸崎町 博文館發行 （振替東京二四〇番）

憲政大會開かる

五百餘名出席した

【東京電報】憲政會大會は二十一日午後一時より本部に於て開會、加藤總裁以下所屬代議士前代議士常議員評議員地方代議員等五百餘名出席小山幹事長より挨拶あり藤澤氏を會長に推し議事に入り左の宣言決議政策を滿場一致異議なく可決次で役員を選舉しそれより加藤總裁の演說あり終つて濱口幹事長の發聲にて天皇陛下並に皇太子殿下の萬歲を三唱し午後二時半散會した

決議

第四十八回議會開會に於ける我黨の行動は之を議員總會の決議に一任す

政策

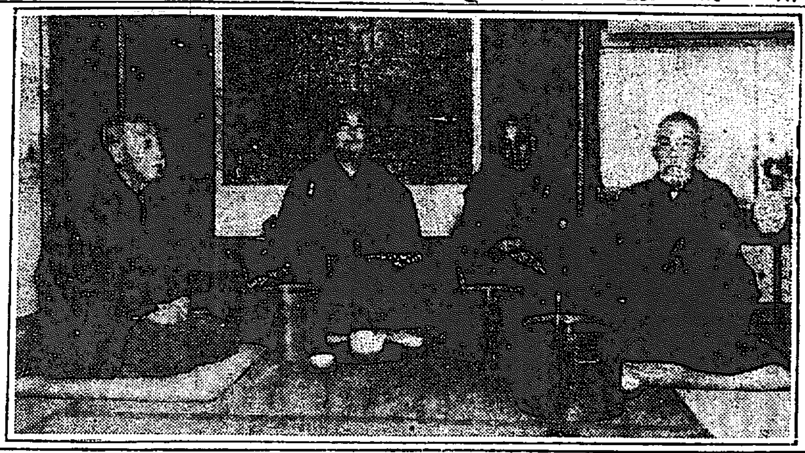
一、外交を刷新し國權の伸張を圖るべし
一、普通選舉を即時斷行すべし
一、綱紀を肅正すべし
一、行政財政の根本的整理を行ふべし
一、諸般の經濟的施設を興し海外貿易の發展を圖るべし
一、農村振興に關する適切施設を行ふべし
一、思想善導に努め民心の惡化を防ぐべし
一、教育の改善充實を計り國民精神の作興を期すべし
一、各種の社會保健國民保健其他の社會政策を實行すべし
一、震災善後處分を全うし帝都復興の促進を圖るべし

普選の餌に瞞されな

加藤憲政會總裁の演說

【東京電報】二十一日の憲政會大會席上加藤總裁の演說要旨左の如し

清浦子爵は政黨に基礎を置ける內閣組織の議を斥けられてゐたが今回其平素の主張に反して大命を拜受し內閣を組織せられたのは既に其根底に於て誤れるものであつて世上の批難に對し固より其責を免るゝ事は出來ぬ清浦子に大命降下を進言した、理由として世に傳へらるゝ所を聞くに一に皇室の御慶事あり震災復興もあり此際政局の紛糾を避け殊に來る五月の總選舉を一黨一派に偏せざるものをして執行せしむる事にありと言ふことである然るに新內閣は元來國民と全然交涉なき一部階級の內閣であるが故に素より平常其主張を國民に訴へ其公約を今日に遂行すると言ふが如き立憲的の性質を之に認めることを得ないのは勿論であるさりながら此の點に至り清浦首相は普選を斷行するの意あることを公にされた普選實行は前內閣も之を公言した之れ丈けにては決して吾々の主張するものと合致するや否や計らないのである今日に於ては普選は無條件の選舉資格を以て次ぎの總選舉より之を執行すること即ち無條件即行以外に政治的意義はないと信ずる若し夫れ大正十三年より之を執行せんとする如きは全く執るに足らぬ世を欺瞞せんとする議論である我黨今日國家社會の憂慮する處は國民思想の不安である然して之を政治的に見ますれば國民參政の大義を確立し以て民意の暢達を圖るより徹底的にして根本的なるはないのであります近頃の政局を見るに三派政黨があり三派共衆議院を無視せる內閣が出現し國民は全く政治に無關係の地位に置かれたのである反抗的思想醸成所に起らざるを得ないと考へられる依然として國家の急務である處の經濟財政の根本的整理社會政策の實行等に就ては既に屢々言明して居るが故に此の際重ねることを避ける吾々は徹頭徹尾のことに關しましても此際に其一般を說したが故に茲に之を略することを止める



握手した三黨首と三浦將軍　樞府顧問を辭した三浦觀樹將軍は十八日午後一時、政友會總裁高橋子、憲政會總裁加藤子、革新俱樂部總裁犬養氏の三巨頭を招いて時局に關して懇談した（寫眞は三浦子邸に於ける左より三浦觀樹將軍、高橋子、加藤子、犬養氏）

新政黨懇話會

【東京電報】新政黨は二十一日午前十一時十五分より帝國ホテルに於て大懇話會を開き山本、中橋、床次、元田の四長老を始めとして出席議員約百三十名其他院外の新黨加盟者を通して約四百八十名の多數出席あり鷲田勝三郎氏の紹介にて山本達雄男一場の挨拶を試みたるに繼で中橋德五郎氏の謝辭あり引き續き中西六三郎氏の演說あり最後に天春文衞氏の發聲で天皇陛下並に殿下の萬歲を三唱して懇話會に入つた

黨の刷新を第一義とす

山本達雄男演說

【東京電報】二十一日政友會懇話會席上に於ける山本達雄男の演說左の如し、

政友會は伊藤公の立黨以來一貫專心國家の休戚を以て任じ其の政策は常に實際に適し時々世論に逆ふも敢て辭せざるの氣概を有しました、之れ頗て國民多數の信頼を博し過去十數年間常に政界の中心勢力として政局安定に貢獻する事を得たる所以であります然るに近來稍もすれば其の傳統的精神を忘れ勢力の增大を顧みて無理を昔めかんとするの弊に陷りました事は立黨の精神に悖るの甚だしきものであります、是れ吾々が涙を吞んで多年の政友と袂を別つに至つた所以であります、茲に新黨を樹立し同志を廣く天下に求むるに付きましては黨の刷新を第一義として純なる政黨政治の確立を圖り依つて以て國家に貢獻する處あらん事を期する所以であります吾々は諸君の驥尾に附して奮闘努力御近所信を貫かん事を期して已まざるものであります

憲政新役員

【東京電報】憲政會新役員は左の通り決定した

總務　濱口雄幸　安達謙藏　竹內作平　頼母木桂吉　橋本喜造　早速整爾
幹事長　三木武吉
政務調查委員長　古屋慶隆
常務委員長　山道襄一

時代錯誤の特權內閣擊破

を期すと革新俱樂部の宣言

【東京電報】革新俱樂部大會は二十日午後一時から上野精養軒で行はれた其席上可決したる宣言左の如し

曩に山本內閣の成るや之に援助して內外の根本政策を樹立せしめんとせり。然るに突發の兇事ありて內閣の崩壞を來すや清浦內閣は敢て宮府の別を辨へず貴族院の一部を基礎として其成立を遂ぐるに至れり。今や憲治下に於いて大權の發動は必ず一般國民の政治意識と逢合する國務大臣が輔弼の任を完うするや否やは一に之を國民の輿論に照らすべきのみ。然るに再度の優詔を仰いで皇室の殊遇を銜ひ、衆議院の解散を高調するが如き憲政を無視し時代に逆行し國民を侮蔑し階級爭鬪を激成し延いて累を皇室に及ぼすものに非ずして何ぞや。吾人先づ清浦內閣を擊破し元老を廢し憲政の基礎を確立し時代錯誤の特權勢力を一掃せんとす。

不信任案と政府

今日の本會議に或機會を捉へ解散斷行論がある

【東京電報】三派より提出さるべき政府不信任案提出時期は三派の幹部上秘密にされてゐるが聞く處に依れば右不信任案は二十二日衆議院に提出せられ只其討議を御慶事後とし二十二日の本會議は普通の如く開會し政府の施政方針演說あり之に對し質問戰を開始し御慶典後不信任案討議の前哨戰となす計畫であるらしく三派間に出來上つてゐるらしいので政府は衆議院解散を假……

不純分子の脫走で更始一新が實現した

三土政友總務談

【東京支局特電】政友會本部は二十日の大會に於ける高橋總裁の演說に鼓舞せられ最後の一人迄黨の結束に徹底すべく盡力したが過半數は分離派の新黨に集はれたやうで地方からも上京の黨員も豫期以上に分離派へ走る形勢であるが三土總務は意氣軒昂として曰く「分離派の案外に多數であつたのは事實であつて我が黨內に斯くの如く異心を挿さむ者を含有して居つたことが從來我が黨をしてその豫定の政策を實行することを得ざらしめたのである政友會は茲に於て多くの異心を抱く黨員の脫走に依つて自然更始一新を實現した譯である我が黨の活躍は兩三ヶ月後にトくと見て貰ひたい四十八議會に臨んでは先づ非立憲內閣の倒壞を目指して突進し解散せられるまで清浦內閣成立の不合理と其存續が國家の爲めに如何に危險であるかを國民の前に披瀝したい」と

英鐵道員の罷業

愈よ決行さるゝ

政府の周到なる善後策

【倫敦二十日發電】英國機關手及び火夫は二十日夜半全國を通じて開始の豫定であつた同盟罷業を延期することを拒絕した英政府は之が爲め大都市に對する食糧燃料等の供給を保證する爲め約一千臺の荷物自動車を動員し周到なる緊急運輸の手配を完了すべく總動力中である一般に罷業は多分一週間位であらうと云ふ

パナマ運河の防備不完全

【紐育二十日發電】民間專門家若干はパナマ運河に於ける海軍大演習を參觀中であつたが右演習は二十日を以て終了した其結果パナマ運河の防備が不完全なる事を示した

議會は解散か

混亂を豫想さる、第一日

【東京電報】衆議院は今二十二日午後一時開會粕谷議長議長席の下に皇太子殿下御結婚に對する賀表捧呈の件を滿場一致にて決議したる後清浦首相松井外相勝田藏相等の施政演說ありそれより三派より代表的質問演說ある筈にて其質問者の順序について三派交涉委員の間に於て秘密に作戰相談中であつて政友の小川平吉、憲政の下岡忠治、革新の尾崎行雄氏等が根本的組閣並に施政上に對し徹底的質問を試むべくそれが爲め議場は頗る混亂惡化することを豫想されて居り會議の結果によりては解散を見るかも知れぬ

ひ二十二日の本會議に於て不信任案を捉へ直に解散を斷行するを有利とする旨主張する閣僚も二三名生じ來り此點につき凝議をしたらしいが一方不信任案だけは二十二日衆議院に提出し會議で政府は自發的に御慶事後迄休會を議決すべしとのことを主張するものもあり依りて解散を主張するものもあり此の場合に於ても休會の期間に於て解散斷行說を執つてゐる者もある

貴族院各派交涉會

全院委員長は二條公に內定

【東京電報】貴族院各派交涉會は二十一日午前十一時より研究會事務所に開會研究會は與平伯外八名茶話會は鷲尾氏外二名公正會は阪谷男外五名交友俱樂部は北里氏外二名同成會は齋藤男無所屬は坂本（釤）の諸氏出席全院委員長は須賀侯の補缺として二條公を選舉する事に一致し次いで黑田副議長に對し祝文を贈る事として散會した

貴族院委員會

【東京電報】二十一日の貴族院委員會左の如し
一、資格審查委員會（正副委員長互選）
一、請願委員會（同上）
一、決算委員會（同上）

衆議院各派交涉會

議席按定其他を決定

【東京電報】衆議院各派交涉會は今二十一日午前十時より議長室に開會正副議長並に中村書記官長の外政友會は鳩山、降旗氏以下六名憲政會は田中氏以下三名、革新、庚申、無所屬は川原氏以下三名新政黨よりは秋田氏以下二名（庚申は交涉團體の資格なし）出席

一、皇太子御結婚に付賀表及び賀詞捧呈の件
一、御結婚當日は奉祝の爲め休會とす
一、賢所大前の儀參列議員總代三名選出の件
一、院內控室並に議席に關する件
一、特別委員割當に關する件

の諸件を協議した而して賢所參列議員の三名は全院委員長富安保太郎、最年長者齋藤隆雄、最年少者上塚司の三氏を選ぶことゝし院內控室は政友會の控室を二分して新政黨と之を占有し又議席は從來の議席に臨み即ち議長席に向ひ右翼より政友、無所屬、革新、庚申、憲政の順序に並び新政黨は中央を占むる事で特別委員の割當は本日は決定しなかつた

不信任案提出

交涉委員に一任

【東京電報】不信任案提出期は二十日夜の三派領袖會で種々の意見が出たが政府との第一戰上の駈け引もある爲總て九名の交涉委員に一任する事に決し同委員は今後隨時秘密に會合して適宜の處置を採るであらうと

本家と分家の鐵拳騷ぎ

名簿審査の拒絕

【東京電報】二十一日の衆議院各派交涉會で新政黨の一宮房治郎氏は新政黨の員數は百四十三名と報告し更に一名を追加して百四十四名と報告したところ政友會の鳩山、岩崎兩氏から新政黨を交涉團體として認むる證據を見せざる限りは新政黨は事務上の手續として名簿を提出すべしと主張し名簿審査を拒絕し兩派の間に一もめあり鈴木義隆君は政友會に打つて掛らんとしたが多數で引止め結局政友會に於て正式に受理した脫黨屆を事務局に提出し又新政黨からも證明書を具備した記載を議長に提出し議長も認めたものを政友會に提出し諒解を得て新政黨員の總數を決定することゝし零時半になつてやつと納まつた

齋藤總督着京

【東京支局特電】齋藤總督は春子夫人同伴守屋秘書官其他を隨へ二十一日午後零時半東京驛に着した驛頭には赤池總監を始め和田財務局長其他朝鮮關係者多數の出迎へがあつた

朝鮮は至極平穩

却つて內地が物騷だ

齋藤總督語る

東京にて

【東京支局特電】齋藤總督は語る「朝鮮から風邪でもない處へ來たけれども未だスッカリ快癒はせぬが新內閣の成立を見て色々打合せの用向もあるので出て來た次第である議會が解散になつたとすれば豫算は不成立となり前年度豫算の施行となるので自然の結果として新規事業の中で影響のあるのは鐵道の延長其他であつて已むを得ない事業は借入金か公債支出かによると思ふ朝鮮は至極平穩で却つて內地の方が物騷である」

總督隱退無根

最近京城電報として內地新聞に總督が今回の東上に絡びつけて其の隱退說を傳ふる者あるが右は各方面への打合せの爲の東上を隱退の具なりと誤報したる等に因るたる誤報であると

土地改良事業急務

速かに竣成の要あり

三井總督府技師談

大正九年度から十五ヶ年計畫で着手された所謂產米增殖に伴ふ土地改良事業が現在如何なる程度迄進捗して居るか更に其豫定計畫の如く竣成しつゝあるか、要は豫算の削減の結果は到底所期の計畫の遂行困難となり目下の如き有樣を以て進むとすれば當時の十五ヶ年を以て四十萬町歩の改良と九百萬石の增收の如きは望み難いものとなりはしないか。之が大體豫算の額は自分等としては不明であるが今假りに反五十圓の經費を要するとすれば四十萬町歩に對し約二億圓を要する事となるが一方之に依る增收の九百萬石は十五ヶ年後石二十圓とすれば九百萬石は實に一億八千萬圓に達するものあり之を以て見れば改良に要する總經費二億圓は十年に亙つて要するもので同時に之に依つて增收さるゝ一億八千萬圓は經濟的に收入となるものである事は如何に其計畫が朝鮮の爲に有利であるか、之を十五年期ち十五倍するとすれば實に二十七億圓の巨額に達し利益に對して約二十三億の增收を期する事が出來る筈であるに而も斯の如き有利なる事業が常に豫算の削減を蒙りつゝある事は國家的大損害であつて經費不足とすれば此際他の開墾上の諸施設即ち直接收入の件はざる河川改修の如きものに對して外債を用ふる事は或は多少考慮すべき必要ありとするも改良事業の如き竣成の上より漸次增收が行はれ同時に價値も得し得るものに對しては之が外債に依るも決して不利不可能な問題ではあるまいと思ふ殊に內地に於ける食糧問題の爲めに更に輸入さるゝ外米二百萬石乃至三百萬石を石二十圓と見んか四千萬圓より六千萬圓の支拂を每年外國に拂はざる可からざるものあり之を二ヶ年分取纏めて改良事業に支出されんか之が支拂は永遠に必要を感じなくなる事となりはしないか、斯かる點から見ても、土地改良事業は此の際思ひ切つて外債に依るか、將又外米代價と思つて支出し急速に竣成さする必要があると思ふ云々

各黨派員數

新政黨最多數を占む

【東京電報】衆議院各派員數左の如く確定す

新政黨百四十四名▲政友會百三十五名▲憲政會百〇三名▲革新俱樂部四十三名▲庚申俱樂部二十三名▲無所屬十六名

商議豫算輕減

二十八日評議會開催

京城商業會議所役員會は昨報の如く十九日午後二時より會頭室に於いて評議會、左の件を附議決定した

一、大正十三年度豫算原案作成の件
一、度量衡器統一に關する件

而して豫算に就ては來る二十八日定期評議會を開きて決定する筈であるが本年度は前年度第一期百分の十八第二期百分の十七であつた賦課金を更に百分の十六に輕減し總豫算額一萬六千餘圓の節約を見るやうになつたと因に全鮮各商議所の賦課金率を舉げて見ると次ぎの如きもので京城が一番低率になつて居る

各會議所賦課率（十二年度）▲元山百分の四十▲木浦百分の三十▲大邱百分の三十七強▲平壤百分の二十六▲群山百分の二十七▲釜山百分の二十五▲鎮南浦百分の三十五▲京城百分の十七▲仁川百分の二十五及取引所に賦課

三線旅客會議

三線旅客會議は二十一日から京城鐵道局に開催された第一日は當局の特別提案の通告並に朝鮮鐵道、南滿洲鐵道、當局の旅客係長以下旅客主任等出席し二十一日夕入城し第一日は滿鐵本社旅客課長以下旅客係、朝鮮鐵道局よりは岡田營業課長等各職員の顔合を行ひ二十二日より正式に會議を開き八日間會議を繼續するが今回の會議は約十日間の豫定である

朝鮮對內地貿易

客臘中成績

大正十二年十二月中朝鮮對內地貿易輸出入額は移出四千三百一萬餘圓移入二千八百十萬餘圓合計六千百十二萬餘圓で前年同月に比し移出一千四百七十八萬餘圓移入百八十五萬餘圓合計一千六百六十四萬餘圓の增加を告げた而して一月以降貿易年額は移出二億四千百二十六萬餘圓移入一億六千七百四十六萬餘圓合計四億八百七十一萬餘圓で之を前年に比すれば移出四千三百卅四萬餘圓移入七百二十萬餘圓合計五千五萬餘圓の增進である斯の如く移出の增進は速かに移入の增加を凌駕した結果出入貿易の關係に於ては出超七千三百八十一萬餘圓に達し前年の出超三千七百六十六萬餘圓に比照し殆ど倍額を計上した

辭令

【十九日附】

總督府京城法學專門學校教授　丸山敬次郎
民法研究の爲滿一年六箇月間英吉利國及獨逸國へ在留を命ず

法務局長　松寺竹雄
總督府檢事　草場林五郎
同　判事　辻　秀
同　檢事　柿原琢郎
東京市へ出張を命ず（各通）

公會私會

◇商工聯合役員會　京城商工聯合會にては二十一日午後四時より恒例役員會を催し改正鐵道運賃批判（京鐵局より會議所に要求ありたるもの）及び計算を正確ならしむる方法（道知事より會議所に諮問）の二件を附議すると

本社移轉

從來下谷區練塀町壹番地假事務所にて執務致居り候處今般左記へ移轉に付謹告致候

東京市麴町區有樂町壹丁目壹番地（丸の內仲通り八號館）

資本金參百萬圓

明治運送株式會社

計算部所在地
東京市神田區山本町廿六番地　計算部

支店其他所在地
東京市汐留驛前　新橋支店
東京市秋葉原驛前　神田支店
東京市上野驛前　上野荷扱所
東京市日本橋區大傳馬町一丁目　大傳馬町集荷所
東京市日本橋區傳馬町一丁目　馬喰町集荷所
東京市神田區雉子町青物市場　市場集荷所
東京市芝區芝浦南濱町二〇　芝浦出張所
東京市飯田町驛前　飯田町支店
東京府下隅田川驛前　隅田川支店
東京府下隅田川驛前　隅田川鮮魚部
東京府下王子驛前　王子支店
東京府下澁谷驛前　澁谷荷扱所
大阪市（梅田）驛前　大阪支店
大阪市湊町驛前　湊町支店
大阪市片町驛前　片町荷扱所
大阪市東區北久寶寺町四八　船場集荷所
兵庫縣尼ヶ崎驛前　尼ヶ崎荷扱所
大阪市安治川口驛前　安治川口荷扱所
大阪市櫻島驛前　櫻島荷扱所
福岡縣戶畑驛前　戶畑出張所
廣島市宇品町　宇品支店
廣島市糧秣廠構內　同詰所
廣島市皆實町　比治山公用課派出所
山口縣都濃郡德山町東濱崎　德山公用課出張所
東京市芝區芝浦南濱町二〇　公用課派出所
東京府北豐島郡赤羽陸軍被服本廠構內　公用課派出所
東京市京橋區遞信省構內　公用課派出所
東京市深川區陸軍糧秣本廠構內　公用課派出所

御成婚奉祝と

十六日舉行せらるゝ東宮殿下御成婚當日の奉祝方法に就き協議する……
三、大邱神社に於て奉祝祭を執行する事
四、當日御舉式の時刻に煙花を……
五、御舉式の時刻には海水浴場に於て煙火五發を打上ぐるもの……
七、官民合同の祝賀……

全南明年確定豫算

百七十一萬三千六百七十三圓

【光州】全羅南道地方費歳入出豫算は一週間の評議會中相當質問もあつたが原案に對し一錢一厘の削減もなく却て當局の苦心に同情し或る款につきては増額の必要なきやの質問も出た程であつたが確定した豫算は左の通りである

歳入經常部

第一款 地方税百十八萬一千百九十三圓 (一)地税附加税五十七萬二千一百九十八圓 (二)市街地附加税八千百六十八圓 (三)戸税五十三萬五千二百三十五圓 (四)家屋税一萬五千七百七十六圓 (五)市場税二萬五千九百三圓 (六)屠場税及屠畜税四萬四千四百六十五圓 (七)漁業税一萬五千五百十圓 (八)車輛税一萬六千九百三十八圓 第二款 臨時恩賜金受入九萬一千二百二十六圓 第三款 財産收入九百二十七圓 (一)基金收入九萬一千百二十六圓 第四款 雜收入一萬一千九百十一圓 (一)不動産收入九百二十七圓 (二)使用料三萬六千八百八十三圓 (三)手數料五萬五千八十四圓 (三)物品賣拂代八千七百五十九圓 (四)雜收入一萬三千百八十五圓 歳入經常部合計百三十八萬五千百五十七圓

臨時部

第一款 繰越金十三萬六千五百六十九圓 (一)前年度繰越金十三萬六千五百六十九圓 第二款 國庫補助金十八萬二千七百三十七圓 (一)勸業費補助金九萬八千七百八十四圓 (二)教育費補助金八萬一千九百五十一圓 (三)衛生費補助金二萬〇〇〇二圓 第三款 雜收入七千二百十圓 (一)作下金收入五千五百十六圓 (二)過年度收入一千六百九十四圓 第四款 寄附金二千圓 (一)航路費寄附金二千圓 (二)土木費寄附金ナシ 歳入臨時部合計三十二萬八千五百十六圓 歳入總計百七十一萬三千六百七十三圓

歳出經常部

第一款 土木費二十七萬五千二百二十二圓 (一)道路橋梁費二十一萬二千五百十圓 (二)水道費一萬五千百九十六圓 (三)土木諸費四萬七千五百十六圓 第二款 勸業費三十八萬七千九百四十圓 (一)種苗場費十二萬四千七十八圓 (二)灌漑事業獎勵費二萬二千二百十六圓 (三)種苗圃費三千百〇二圓 (四)陸地棉獎勵費二萬六千四百三十圓 (五)米豆改良檢査費五萬一千百七十圓 (六)蠶業取締所費一萬三千〇五圓 (七)物産陳列館費二千二百九十七圓 (八)水産試驗場費一萬三千九百五十八圓 (九)勸業諸費二十三萬〇九百四十六圓 第三款 授産費六萬九千九百九十一圓 (一)蠶業技術員養成所費三萬四千二百三十二圓 (二)窯業傳習所費二萬一千五百圓 (三)漁業傳習費二萬〇七百五十九圓 第四款 教育費十二萬八千七百四十三圓 (一)全羅南道公立師範學校費四萬七千七百四十四圓 (二)木浦公立商業學校費二萬五千八百六十四圓 (三)光州公立農業學校費二萬〇五百二十七圓 (四)濟州公立農業學校費一萬六千〇[illegible]圓 (五)[illegible]費一萬五千七十圓 (六)國庫納金四百圓 (七)教員講習會費一千二百三十圓 (八)教育諸費一千四百二圓 第五款 衛生費二萬〇九百九十六圓 (一)種痘費三千圓 (二)傳染病豫防費[illegible] 第六款 社會救濟費四萬二千〇五十四圓 (一)社會事業費三萬〇九百三十圓 (二)救恤救濟費九千百十二圓 (三)救恤費二千〇十二圓 第七款 評議會費六千七百十五圓 (一)評議會費六千七百十五圓 第八款 財務費一千七百圓 (一)管理費一千七百圓 第九款 地方費取扱費九萬〇三百六十四圓 (一)徴收費七萬五千七百三十三圓 (二)金融諸費六百四圓 (三)出納諸費一萬四千〇三十一圓 第十款 雜支出二千三百六十圓 (一)繰替金一千五百圓 (二)給與金八百六十圓 第十一款 豫備費二萬〇七百七十二圓 歳出經常部合計 百〇四萬六千八百五十七圓

臨時部

第一款 土木費十萬百五十圓 (一)道路橋梁費八萬九千五百圓 (二)水道費八千百五十圓 (三)治水費二千五百圓 第二款 勸業費四千五百五十六圓 (一)種苗場費四百九十五圓 (二)水産試驗場費四千〇六十一圓 第三款 授産費九百三十六圓 (一)窯業傳習所費九百三十六圓 第四款 教育費五萬四千九百四十六圓 (一)全羅南道公立師範學校費三萬七千七百五十六圓 (二)木浦公立商業學校費一萬二千六百五十圓 (三)光州公立農業學校費[illegible] (四)濟州公立農業學校費[illegible] 第五款 補助費四十九萬四千[illegible]圓 (一)土木費補助六萬〇三百圓 (二)勸業費補助十三萬二千六百[illegible]圓 (三)授産費補助[illegible] (四)教育費補助[illegible] (五)衛生費補助一萬一千六百[illegible]圓 (六)社會事業費補助[illegible] (七)航路補助[illegible] 第六款 恩賜金繰戻 (一)臨時恩賜金繰戻九千〇五[illegible] 第七款 雜支出三千圓 (一)雜出三千圓 歳出臨時部合計六十六萬六千八百十六圓 歳出總計百七十一萬三千六百七十三圓

慶北迎日灣の漁况

鯖群は方漁津方面へ南下した

鰊と鯖の燻製は近く市場に出る 富樫水産試驗場長談

【大邱】慶北迎日灣は鯖と鰊を以て名高い漁場であるが今年は鯖の漁獲が少く迎日灣口の漁期が一月十日頃から始まつて居る鰊漁業者は[illegible]近年未曾有の豊漁であつた目下迎日灣内に現はれて居る鰊群は昨年十二月二十七日頃から同灣内に現はれた鰊の漁期は一月二十日頃から始めて鰊漁は十三日から始まる模様である[illegible]

尙州學校豫算

【尙州】尙州面では十四日より大正十三年度尙州學校組合の豫算案を評議した結果は十一萬五千餘圓の豫算總額となつた[illegible]

十二年中の城津港牛移出數

【城津】昨年中內地に向け移出せる牛數は一千三百九十二頭で價格八千五百四十四圓となり[illegible]月別は左の如くである

月別	移出頭數	同上價格
一月	一五	七、二〇〇
二月	六六	三、七八〇
三月	七四	五、五一〇
四月	一五八	三、〇三〇
五月	五六	三、〇二〇
六月	二五九	六、七〇〇
七月	二五九	三、九三〇
八月	二二二	一〇、八六〇
九月	二二二	七、九一〇
十月	二二七	七、五四〇
十一月	一九五	五、四八〇
十二月	一九五	六、三四〇
計	一、三九二	八六、五四四

仕入れ地としては 城津 六六頭 臨溟 二七九頭 明川 四二頭 花臺 七〇頭 吉州 八五九頭

端川 七六頭 仕向け地は左の如くである 大阪 一〇二頭 東京 四三六頭 廣島 三六二頭 兵庫 四九〇頭 愛知 二頭

全南 玄米檢査數量

【木浦】昨十二年一月より十二月迄の全南道內玄米檢査數量は七十七萬五千〇七十七叺で白米は十七萬二千三百七十叺合計百十一萬八千百四十七叺で此の大部分は木浦港から輸出せられ三十萬石と云ふ當港移出米の新記錄を作つたが之を前年に比べると白米は十一年八月からの檢査開始で比較が取れない

手數料問題解決

一割の割戻しで圓滿解決

【安東縣】安東取引所に於ける[illegible]一圓滿に[illegible]

慶北醫療機關

【大邱】大正十二年度末に於て慶尙北道警察部衛生課の調査した醫療機關は左の如し 內國人醫師開業四三名、開業外一七名、鮮人開業醫二六名、開業外六名、外國人開業一名、齒科醫內地人開業二名、開業外五名、鮮人開業一名 産婆內地人開業三名、開業外二五名、鮮人開業一名 看護婦內地人開業三六名、開業外八名

原木手持數量

【安東縣】目下安東に於る原木の手持數量は採木公司十一萬尺メ、森林公司十二萬尺メ、營林廠四十萬尺メ合計六十六萬尺メであるが最近內地復興用材の需要も略完了したので目下小口取引も漸次見越りの販路を求めて居るので當口の需要は二十萬尺メで其他は主に天津上海に向け販路を求める[illegible]

平北免除地税

約五萬圓

【新義州】平北道各郡に於て昨年の旱害及水害により免除したる地税は三萬四千六十三圓で此の被害地税額一萬四千八百七十圓[illegible]

南浦輸移出入

【鎭南浦】鎭南浦港十二年度移輸出入額は十一年度に比し輸出二十三萬四千六百六十四圓の増加を示し輸移出十二年度三百六十九萬二千八百[illegible]

汽船續々入港

南浦港は時ならぬ多忙

【鎭南浦】近頃稀なる暖氣にて大同江の流氷は著しく減小し汽船の航行には何等支障なく[illegible]

仁川汚物掃除と道路撒水

【仁川】仁川府に於ける汚物掃除及道路撒水施行の事業は年來の懸案でありながら今日迄ほとんど不徹底のまゝであつたが本年度に於ける[illegible]

猖紅熱の撲滅は個人衛生の徹底にあり

と釜山府で大々的宣傳を行ふ

【釜山】昨夏一時猖獗を極めた猖紅熱は本年に入り又々流行の兆を示して居る[illegible]

釜山各學校新入生收容數

【釜山】釜山學校組合の十三年度新入學兒童收容計畫は[illegible]

校名	新設學級數	收容人員
第一	三學級	百五十人
第二	三學級	百五十人
第四	二學級	百人
第五	三學級	百五十人
第六	二學級	百人
第七	一學級	五十人
第八		
合計	十七學級	八百五十人

大邱圖書館開館式

二月十一日擧行に決定

【大邱】大邱府立圖書館は[illegible]二月十一日紀元節の佳辰を卜して盛大な開館式を擧行すべしと

全州電氣停電

【全州】全州電氣會社は[illegible]

四郡物産品評會

【慶北】[illegible]

南商評議員會

【鎭南浦】鎭南浦商業會議所にては大正十三年度第一回の評議員會を二十八日午後一時より[illegible]

金組理事會議

【全北】[illegible]

果樹園整理

【慶尙北道】[illegible]

博覽會と慶北出品

【大邱】來る三月二十日より五月迄京都に於て開催せらるゝ[illegible]

開城署幹部異動

【開城】[illegible]

警察官へ謝狀

【開城】[illegible]

平北師範移轉期

【平北】[illegible]

茂山電話開通

【茂山】[illegible]

開城郡守斡旋會

【開城】[illegible]

厄介な滯納者

差押へは名譽毀損だと騷ぎ廻る馬鹿

【大田】[illegible]

滑稽な迷信

【新義州】[illegible]

釜山刑務所狀況

【釜山】[illegible]

慶北の狂犬病數

【大邱】大正十二年中に於て慶尙北道内に狂犬病の發生した數は七十六頭で之を前年度に比する時は三十頭の增加[illegible]

年次	發生	前年に比し
八年	五七頭	
九年	二三頭	三四頭減
十年	三七頭	一四頭增
十一年	四六頭	九頭增
十二年	七六頭	三〇頭增

慶北獸疫減少

【大邱】[illegible]

客年安東縣局成績

【安東縣】[illegible]

兩校子供會

【釜山】[illegible]

大中武道大會

【大邱】大邱公立中學校では第一回武道大會を來る二十六日午後一時より同校内道場に於て開催する事に決定した（大邱）

木浦婦人交禮會

【木浦】[illegible]

清水東拓支店長榮轉

【平壤】[illegible]

地方集會

▲[illegible]

地方人事

▲兒玉關東長官 十九日家族並川中秘書官を伴ひ上京の途に就いたが議會閉會中滯在の筈（旅順）
▲水野重功氏 大邱地方法院檢事（京城）
▲千賀顯市氏（光州地方法院檢事）
▲大邱地方法院檢事（大邱）
▲富樫有臣氏（慶北水産試驗場長）十九日事務打合せの爲上道（大邱）
▲手塚省吾郎氏（長崎新報京城支局長）二十日多數官民見送裡に出發赴任した（仁川）
▲川添種一郎氏（南浦商議會頭）東上中の處二十五日歸南の筈（鎭南浦）

大同江畔より

破魔弓

◇政友會分裂して東京の政界は[illegible]

せきづい
腰・手足・脊骨痛み又はシビレ手足ツリ甚しきは脊骨曲り歩行出來ず難澁する方に對し直に効驗ある藥を得ざる方に對し無料拜送す 兵庫縣明石郡林村 木本製藥所

急告
復興の新帝に際し節約と手輕の爲安阪貨及材を大量勉強して賣出し候 松丸太 松角材 元山府泉町三丁目 原田商工社 電話長七三六番

結核專門 古賀病院 九州線 [illegible]

資本金五千萬圓 積立金參千七百五拾萬圓 株式會社 第一銀行京城支店 京城府南大門通二丁目九番地 支配人 永井 啓

京城本町二丁目 宮川大學堂本店 眼鏡類一式貴金屬品金銀盃記念品等 品質優良に製作し御値段は充分に勉強します何卒多少共御用命を願ます 電話本局長二九五九番 振替京城一二二九番

京城俱樂部特約店 京城蓄音機合資會社

蓄音機の實用化？ レコード交換會員募集 皆さんお持の古いレコードは僅少の會費でお好のレコードと何回でも交換されていつも面白くお聞きになる事が出來ます 會則は申込次第送呈 萬國レコード交換會朝鮮本部 元山府旭町三丁目 電話一二五五番 振替京城一二九九一番

一日散に逃げるかぜの神！ かぜこねつには ハカリ印のヘブリン丸 ハカリにかけた信用 責任分量で正確に効く 大阪市北濱 參天堂合資會社

目出たい晴着

（右）畏くも良子女王殿下が御成婚當日征ひ給ふ御洋裝になぞらへて考案された結婚服（左）御慶事にふさはしい晴れの衣裳、髷は其の頃も澄き『おし鳥』帶は目出たき『千代の春』

變愛苦、性愛苦を救ふ 敦岩里の聖愛道場

里人に呼はる、夫婦坂

（一） お嫁に入つた高砂社の政枝さん

世は新玉の春を迎へてお芽出度うを繰返し春風駘蕩たるものがあるが顧り過ぎだお芽出たからぬものは不遇にして世に合ぬ落魄者と然して不幸にして配偶者に先立たれた寡婦と然して鰥とである、病氣や不運の災禍の爲に配偶を失つたものゝ追憶には一種の温か味もあるが不倫なのは殊に離かれぬ仲を離かれたり、離かれぬ別れをした諦め切れぬ人々や、夫婦の折合悪しく又は舅姑の折合惡くして孤獨に彷徨す人々である。

◇

離婚には殊にそれが多い、結婚生活のスタートを誤つてゐたり、結婚後夫婦何れかの過失から遂に離婚したりしてゐる人が可なりにあり、又一面には妻に去られた爲めに乳のみ兒を擁して淋しい人生の路を歩いてゐる人が勘くない。

◇

いまの東小門外敦岩里の平山牧場の主人政千氏の夫人政枝さんは彼女自身の悲痛な體驗に鑑みて之等多くの泣くに泣かれぬ性愛苦に悩み悶えてゐる人々の爲に一昨年七月大和町二丁目に高砂社を設けて戀愛、性愛、その他の爲に悩む人々を慰めるもの、伴侶として之が相談に預かり之れが解決のために彼女の一身を賭して起つた。

◇

大和町の高砂社では會員組織で會費であつたのを社會奉仕の事業として目下謝禮の義務であることに改め新に結婚生活に入らんとする若い人々の爲に指針たらんことを期して生誕の日が流れた。

◇

隆を卜して高砂里の人たちに依つて命名された夫婦坂を上り下りつて敦岩里に政枝夫人を訪ねて見た大和町にゐた折よりずつと血色もよくなつた夫人は靜かに語る。

『時折り新聞に記事をしたりしてゐますが平山の耐人か同居者がやつてゐると思ふてゐる人がある譯ですが、里人も理解を持つて呉れて居ります、又妾が獨身で經營して居た時分から見ると試しのみ申込だの意見だの言ふ申込者があります。でもまだ結婚と言ふ人生の一大事が非常に無造作に無智に、考へられてゐる、廚川白村氏の戀愛觀やショウの戯曲やウォードの女性中心説などから一部の階級、有識者の間には可なり戀愛に考慮されて來た樣ですがその大部分はそんなことには全然お構ひなく、自身一個の生涯の伴侶を求めるのに電話で品物でも買ひ求める様に考へて『何うでせう好い人はありませんかしら』など言つて來る人があります、懸かつたら又取り替へるまでさと言ふ態度です』

偶感

光と陰との音律師 若い記者の演奏 (四)

多田毅三

神秘の小舟、僕は——その小舟の中にぞ潜む一縷の機密は秘め込まれてゐるのである。僕の使命は何時も此の小舟の中に行き亘らないのである。

然し、新聞の始めに當つての僕の任務は、此の曖昧の除去よりも誰照新の調度を高め、陳腐を永くすることだ。

ピウリタンであることのみが僕の生活の目標でない。

音音器は細々しく光と陰との曲を奏でることである。知ることだ——眞ふのだ。

生臭い呼吸をして偏導師の價値をするのは人生の一寸した洒落に過ぎないのだ。

◇

此の世で一番大切なものは僕が呼ぶ者があるならば……『僕だ』と云つて見せうもの、……僕……僕が死んで世界が何處にあるかね、

諸君——

諸君方の世界は、諸君方の知れるだけですぞ！諸君方の世界は大きさと明るさと、賑はしさを異にしてゐるのだ。

僕の『世界』は『僕』が抱いて居るのだ。僕が生存するが故に一般の事象がある。

世界を廣しく、より偉大に深遠に知るには、先づ僕が自らに爲さねばならぬ。

それに通はない譯でせう。

◇

僕があつて生活を愛し、新聞記者をし、僕が君と國とを知り、人が戀人を擁み、僕だけの世界、僕だけの正義を知り、僕だけの世界を知つてゐるのである。

又、僕あるが故に人類が必要であり、金が必要であり、僕の完全さを希ふが故に途方も無く厄介な國字を習ひ、數學を學び、次では時世氣た活字の計算もし、僕を導くべき道理を擇ね、正しき愛人を好み、長上を敬し、僕の世界の大ならんことを欲する。

◇

あゝ、吾永遠の旅よ。

僕にして此の『僕』を窮め得るの日が何時來やうぞ。

只一つ、——只一瞬此の僕の斃した所の總勘定の日。僕の世界の消滅の日、吾肉體の滅亡の時の一週面に於て上映される喜悲劇の一と幕でのみであらうか。

斯くて『僕』の世界は日と共に成長し、驚怖と感動と歡喜とは遂に、足る無き永遠の旅上に僕を立たしめる。

「久遠の春」 御慶事奉祝の曲

來る廿六日は兩殿下の目出度き御成婚日なので國民は色々の意味で奉祝しつゝあるが三宅醫學博士夫妻も御慶事にちなんで『久遠の春』英語では『エターナル、スプリング』としてめでたい言葉となつてゐる此の左の歌を合作したのに宮樂學校教授今非慶松氏が多大な苦心を以て作曲し琴は勿論ピアノにも合はすことの出來る音譜で出來上がつた合の手なども頗る苦心し初ケ代と同じ調子を用ゐたところもあり二十六日の御慶事當日第八曲移風會新年初會で今非慶松氏が演奏することになつて居る歌詞は左の如くである

◇

一 山高の尾張の尾津の一つ松、人にありせば太刀はけて、つきなき世の守護神、五葉の松のいつまでも變へぬ色を結び松、姫まつ小まつ生ひそひて、枝を連らね御繁榮

合の手『君が御繁は千代のかげ、陽の露に濡れ／＼てなびきる緑いろ深く伸びよさらに、かたき操の鋼に思ひのたけの綠葉やいさゝ雙鶴、齢を喰む鳥も囀そへて謠へばの喜び春の風』

合『竹が笑へばほゝゑむ梅の春しり初めてほの／＼と開く紅梅の三つ四つ契りいつも八重垣つまごめて、渡染めに匂ふ色もよし』

合『百よろこびの聲も、囀りかはして、うたへや舞へやむら鶴、巣をくふ田鶴も千代松が枝も、さゝくる齢は限りありけりつゝみ鼓『君が契りは久遠の春の光りの輝々とかゞやきわたりて八島のほかも、くまなき御代とはいはふかな、くまなき御代をいはふかな』

夢の研究

夢を見る三つの原因 大人の夢と小供の夢 相場師や囚人の夢

おとなの夢と子供の夢はそれ／＼内容が違つて居ります、大體子供は三つから夢がわかるものでありますが、その内容はおとなの夢に較べると非常に簡單です、つまり一口にいへば脈絡が一つだけでおとなの夢の樣に次ぎから次ぎと第二第三の事柄が續く樣なことがないのです、假へば

自動車 に乘つた夢を見たとすればただそれだけでおとなの樣にそれから頭に乘つたといふ樣に後から後から別の事件が續く樣なことがないのであります、そしておとなの夢は自分の職業に關係したものが一般に多いのでありますが、子供の夢は自分がその日遊んだことや自動車電車といふ様な乗物の一般に多いのであります、それから一生の中で一番夢を多く見るときはいふまでもなく

青春期 です、そしてまたこの時は經驗したことのない樣な性慾的の夢を見るといふこともその特徴の一つであります、その反對に老人になるとほとんど夢を見なくなつてしまひます、一體に夢を多く見るときは異狀の變化の烈しい時でありますが、それも體の一部分に急な變化のあつた場合が一層よく夢を見るものです、例へば片足がふとんからはみでてゐるためひやりと感ずると、その瞬間がとんで前日行つた

海水浴 の有様が夢になつて現れる樣なものです。體質からいふと神經質の人が一番たくさん夢を見るものです、そしてその夢は長いのであります、それから夢は熟睡中にはないもので明方に一番多いのであります、つまり眠りは外からくる刺戟などにきはめて感覺し易いからです、それからうなされるのは眠りばなに起るもので夢の原因は三つあります第一は

心理的 の刺戟、第二は内臓の故障や腹脹から來る刺戟、第三は環境です、相場師に夢が多いのや囚人が夢の中でうなされるのはみなこの心理的の刺戟のためでその他のるかそるかといふ様な仕事や變化に富んだ仕事に從事してる人に夢が多いのもこのためであるめです、内臓に故障のある場合例へば胃に故障がある場合に夢を見ることはたいていの人がよく經驗することであります、そして胃や十二指腸に

蛔虫が わいてゐる場合にはみゝずがたくさんゐる夢を見またせんそく患者や心臓の悪い人は坂道を登るといふ樣に息がきれる樣な夢を多く見るものです從つて外國では夢順法といつて夢を分析して

醫學的 に應用することが盛んに行はれて居ります、精神病の中癡呆には夢はありませんがなりはじめにはよく妄想的な夢をみるものです、それからヒステリーの人はほかの人より複雜な夢を多く見るものです、それから子供は

便所に はいつた夢を見るとたいてい夜尿してしまひますが、おとなは訓練ができてゐるので夜尿する樣なことはありません

獻上品發送

東宮殿下御成婚を奉祝する大邱府の獻上品は慶尚北道の一特産物たる永威郡生産の良質莚五十枚なるが松井府尹は昨年中より現地に出張し種々調査の上同地の有力者某をして齋戒沐浴の上謹織せしめつゝあり既に謹織中其の製品を完附し來りたるを以て謹んで嚴重なる荷造りの上十九日付を以て發送の手續きを了したと

家庭覺帳

▲棕櫚の葉の拭き方 棕櫚類や蘇鐵やそれに似た鉢植の葉物の葉は時々拭かないと埃が附いて光澤が無くなる、只の水で拭いては茶褐色の汚點が出來たりするから、牛乳と水とを等分にまぜたの中に含ませて靜かに一枚々々拭くと見違へるやうに美しくなる。

△△△△△△△△△△△△△△△くず手から魚のにほひを除くには、手に魚の臭がうつつてどうしても取れないやうな時には辛子を粉の儘掌りこむとおきに消えるものである

震災後の流行色

また派手に戻る

震災後の流行界は漸次以前にも増して派手な傾向を辿つてゐる樣である、今三越呉服店京城出張所の仕入部の飯塚藤志郎氏の話を聞く

十三年度春向の流行色は在大阪高島屋、大阪屋、大丸等十三大呉服店から組織されてゐる大阪會で選定した色彩に準じてゐます即ち

青藍＝紺青に青味を加へた底力ある色調であつて健實な精神を表徴してある、濃淡に依り他色との配合に依つて年齢は一定しない、

金鈴＝金茶を明るくし之に幾分の橙味を加へたもので金鈴の音たる音色と非趣きを表象化したものである

旭光＝朱に落付ある臙脂を含ませたものであつて、晴れ渡る大空に昇らんとする旭の輝きの樣に生氣が漲つてゐる

若まつ＝萌え出る松の花白緑とも言ふべき千代萬の齢を込めた若松の緑色を聯想させるものである

山すみれ＝淡紫に赤味を加へそれに落つきを見せた新味のあるものであつて遠き山すみれのゆかしさを想はす色調

春向きであるから一般に色調は淡彩が多い、柄も思ひきり大きく派手な樣である、從來漸次に地味に向いてゐた流行界は大震災の餘撥か再び樂に還元して非常に派手になつて行く樣です

手腕ある助手入用
一誠齒科醫院
平壤本町 電話五五〇番

二分間で玉の肌
脫毛劑
濃い毛、剃ると直に出來る女の毛、毛深くて困る方は此の劑で二分間で玉の肌、數回使用で生へ無くなる、皮膚に少しも害なくスベ／＼と氣持よく、說明書無代呈上
價一圓、二圓、三圓 送料十八錢
東京芝三田 三田化學研究所 振替東京二八二八番

造化の秘密
生殖の妙機と腦神經衰弱の聯絡療法

太古の人類は生殖器の機能を神秘視して其形を祭つた位であつて世界の文明が幾分進んでからも受胎作用を科學的に說明する域に達せず千古の疑問進化の秘密とされて居たが近世醫學の進歩により精蟲の存在を認められ卵子を發見せられ極めて微妙なる造化の秘密も具體的に證明せられ更に最近に至つては生殖器なるものは生殖の本能以外に一大機能を有しその生殖腺は一分一秒の休みもなく絶へず一種の化學的物質を内分泌して神經より腦髓にまで最も必要なる榮養素を與へつゝあるから生殖機能の旺盛と衰弱は直に腦力體力の強弱に關係することが分り生殖器の衰弱を復活することは一層の意義を有することゝなつたのである此の最新の學說に基し合理的なる新生文化劑『トツカピン』は巨塚醫學博士の方劑に係る高貴藥にして一回の服用衰弱に一隨延も効力顯著且つ偉大にして手淫、過淫の害を回復し生殖器機能衰弱、遺精夢精早漏、陰萎、性慾減少症に著々奏効し同時に頭腦を始め全身神經系統に新滋分を富ましめ新陳代謝的に疲勞物質を排除するより頭が輕く爽快明晰となり記憶力、判斷力を亢進し精力根氣を強くし生殖器機能衰弱、腦神經衰弱を一擧兩得的に復活せしめ老人は性的に若返り若き男女は益々人生無上の幸福と活動精力を増進すると實驗界に豫想以上の滿足を與へ昨今流行的に歡迎されつゝあるが藥價は廿五錠入金三圓、五十錠入五圓、百廿錠十圓、二百八十錠大徳用分廿圓にて全國到る所の有名藥店に販賣されつゝある若し品切等の地は發賣元東京銀座新肴町八番地丁子堂藥房（振替東京七三三一番）へ直接注文せられよ前金注文送料不要、代引注文送料實費にて直く密送す、健康男女も精力腦力増進剤として常に愛用せられよ

大正十二年七月一日改正
价川輕便鐵道
朝鮮平安南道价川郡見龍里

下り 列車番號	一	三	五	七
新安州發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安州發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北松里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
龍興里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
雲田里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
价川着	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
价川發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
栗里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
泉洞着	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

上り 列車番號	二	四	六	八
泉洞發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
栗里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
价川着	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
价川發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
雲田里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
龍興里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北松里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安州發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新安州着	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

資本金 壹千五百萬圓
積立金 繰越金貳百拾六萬圓
株式會社 十八銀行京城支店
京城府黃金町二丁目 電話本局六〇一八番 振替貯金口座京城八一四番
同 新龍山支店
京城府漢江通り十三番地 電話龍山五五〇番 振替口座京城一六二三番
同 龍山出張所
京城府元町二丁目 電話龍山一八番
銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

内科 胃腸病
診療夜九時迄
飛川本町一丁目
石川醫院
電話【一三九〇番 三五五九番

金銀 白金地金 貴金屬美術品 各種銀器製作
德力商店
京城明治町一丁目 電話一五七二番 振替京城二三四

各地の記念事業

大邱の奉祝

十八日午後一時より大邱府廳樓上に於て大邱府協議會を開き來會三[illegible]事となつた
一、府民一般國旗を掲げ祝意を表し本奉祝の意を表する事
二、松井府尹は府民を代表して奉祝の電報を宮內省に發送して[illegible]

紀念貯金 釜山局の計畫

[illegible]島局長は語る 御大典を奉祝すべく種々計畫中であつたが愈々此の御成婚を永久に而も意義ある事業として記念貯金を奬勵する事とした[illegible]局員者は三日以上の[illegible]けせ本府內各官廳、學校、會社、銀行等には特に社員を派して募集し又學校其他に對しては大々的貯金思想の宣傳を行ひ一面では[illegible]を永久に記念すべく當日預入の貯金通帳には記念スタンプを押捺する事に決して居る（釜山）

清津

淸津府の御慶事奉祝[illegible]

馬山

馬山府に於ては[illegible]の意見を徵した[illegible]
一、賀表を奉る
三、當日府協議會を開き賀詞を決議すること
四、馬山神社に於て祭典を行ひ府協議會員之に參列すること
[illegible]六、府內各學校に於ては三大節の例に準じ祝賀式を行ひ兩殿下の御眞影に關し訓話を爲し兒童及生徒には紅白の餠一重を給與し式後馬山神社に參拜[illegible]又は[illegible]方法は御婚式の時刻を期し廿一發の煙火を打揚げ外に府內各寺院は一齊に打鐘又は[illegible]行する筈（木浦）

極彩色の朝鮮館

御成婚記念の京都博に

朝鮮からの出品物と建物 朝鮮事情の紹介にも努める

皇太子殿下御成婚を記念する爲め來る三月二十日より五月二十日迄六十日間京都岡崎公園に於て開催される萬國博覽會參加五十年記念博覽會出品の爲め朝鮮總督府より出張打合せ中であつた商工課牧山技師は廿日歸任したが同氏は語る打合せ會は十六日一日丈で出席者は約六十名全國各府縣より集まつてゐました會場の總坪數は約四萬坪で岡崎公園の大部分であるが總督府は先年の平和博覽會の時の樣に極彩色の朝鮮館一棟平家を建てる事になつてゐるが應天門通り大極殿前の右側で六百坪位の敷地中に百三十坪の豫定で二月十五日から起工し三月十日までに竣工を見る事になつてゐる今回は大體多數出品の目的で出品數約三百點位で即賣する事になつてゐる賣店には朝鮮婦人をつけるか何うかは未定で近く廣川技手は朝鮮館設計圖を携へて京都に行く事になつてゐる尚朝鮮事情の紹介に就ては陳列館の階上か公會堂を借入れる事になつてゐるが之も確定してゐない云々

外人宣教師排斥運動

平壤の基督教徒

平壤に於ける耶蘇教徒の外國人宣教師排斥に關して平壤府內西門外教會長老朴仁寬同教會信徒金東造、張允鉉及府內里門里教會牧師安昌浩の四名は先般來耶蘇教改革の計畫をなし會合を續けてゐたが左の如き決議をなしたと
一、西洋人宣教師を排斥し以つて現在の教會政治を改正する事
一、現在の鮮人牧師として無資格者は退職せしめて有資格者を採用する事
一、傳道師は一般信徒より有資格者を公薦して採用する事
等であると

鮮銀支店員を襲うた釜山のピストル强盜

仁川で逮捕さる

犯人は和歌山師範の出身で元教員、縣屬を奉職 仁川では會社の支配人を勤めてゐた

既報、客臘三十一日午後九時四十八分頃鮮銀釜山支店員福田淺一（三）が釜山棧橋待合室內鮮銀派出所で一萬五千圓の兩替をすませ該金を折鞄に入れて支店擔戰夫森岡好藏の人力車に乘り支店へ歸る途中を待ち受けて大廳町第七小學校前に於てピストルを亂射し福田森岡の兩名に重輕傷を負はせ一萬五千圓を强奪逃走したる强盜犯人につき釜山署では八方手配すると共に寢食を忘れて搜査に努めてゐたが三週間を經たる今日に至るも何等の手掛りなく事件は迷宮に入りたるかの觀ありて一時警察の威信さへ疑はれてゐたが豫て手配を受けてゐた仁川署では俄然二十日より大活動を開始し二十一日午後三時半仁川署森澤小高兩刑事及び釜山署福井刑事は仁川敷島町二七高野豆腐製造業岡宗一（四〇）方を襲ひ同人を有力なる嫌疑者として本署に引致取調べたる所前記釜山棧橋のピストル强盜犯人なる事を自白したので兒玉司法主任係りで引續き嚴重取調中である、犯人岡宗一は和歌山縣伊都郡橋本町生れで和歌山師範卒業後小學校訓導、縣屬等を奉職した事あり明治三十七年頃に仁川に來て一昨年頃から仁川朝日工業會社の支配人となり昨年來會社の事業を引受けて自分で經營してゐたが放慢な經營振りの爲に失敗し六千圓程の負債を生じ更に高野豆腐製造業を開業したが之亦事業が面白くいかぬので前記の犯行をしたものらしく同人は妻との間に廿一歲を頭に三男三女あり妻は相當良家の出であると（仁川電話）

釜山で一儲け

せんと師走十四日に 釜山に入込み時機を待つ

犯人岡宗一は仁川での放縱なる商賣から重ね〴〵の失敗を招き窮迫となつて釜山で一儲けせんと企て舊臘十四日釜山に至り奈良縣宇智郡五條町岡宗一（□○）と詐稱して同日の町花月旅館に投宿したるも同日大阪に行くと稱して同家を立出で同地埋立新町方魚旅館に竹田英吉と變名して投宿し二十日無斷外出したが間もなく同家の女中お千代にあて『牧の島より』として今金策のため牧の島を訪問してゐるから調金出來次第歸宿して宿料を支拂ふ旨の書狀を送り三十一日夜（兇行後）突然方魚旅館に歸り來り部屋には入らず玄關先で女中お千代にあひ『自分は牧の島を駈けづり廻つて非常に疲勞した』と語り乍ら宿料十八圓のところを二十圓（十圓札二枚）を渡して立出でその足で直に花月旅館に到り大阪から今歸つたとて五十錢を支拂ひ何處ともなく立去つた

血のついた十圓札

宿屋に支拂って足がつく 强奪した金は銀行に預けてゐた

大膽不敵の釜山强盜犯人の蹤跡につき血眼になつて活動中であつた釜山署福井刑事は前記岡宗一の舉動に不審を抱き同人が花月旅館に宿料を支拂ふ時の舉動及び竹田英吉と變名して方魚旅館に投宿し而も三十一日の夜支拂たる二枚の十圓紙幣に血の附着しゐたる事等を突きとめ愈々眞犯人ならんと眼星をつけて大活動を開始し苦心慘憺の末同人が釜山驛から仁川行きの切符を求めて出發した事を探知し犯人は仁川に潜伏せるならんと二十日仁川に來り仁川署と打合せて大活動の結果岡宗一の名義で十八銀行支店に預金したる千五百圓の中にも血痕の附着したる紙幣の交りをたる事實を聞知し二十一日午後三時三十分犯人岡宗一を前記敷島町の自宅に襲ひ難なく逮捕したのであるが强奪したる一萬五千圓の中一萬三千圓は既報の如く伏兵山の松林の中に埋匿し二千七百四十圓の中千五百圓は前述の如く十八銀行仁川支店に預金し殘りは債務の辨償旅費等に費消し兇行に用ゐたるピストルは護身用として常に攜帶してゐたもので之は兇行後の花月旅館に隱匿せる事を自狀してゐるが同人は京都大阪方面に旅行し本月十七日に歸仁した形跡があり引續き取調べ中である（仁川電話）

御慶事に因む 常盤結 山本女史考案

內務文部兩省嘱託として世界流行界の中心地たる佛國流行界を視察研究した山本久榮女史が記念すべき御盛典にふさはしい結髮と裝飾を選んで來た、圖は榮行く常盤の松の緣も麗しき女學生女子活動家に尤も適はしく又大和撫子の姿も淑かに帽子いらずのネツトを用ゐ而もそれがピツタリとした調和を見せた御慶事髮『常盤結び』である

各國大公使 御祝品 二十一日奉呈

各國大公使は廿一日午前十時半赤坂離宮に參內攝政殿下に拜謁各御祝品を奉呈した（東京電報）

主義者の姿が一齊に掻き消えた

警視廳は泡を喰つて大活動

震災後東京市內に踏み止まつた左傾分子はほんの僅の數だつたが最近秩序が幾分恢復したのでボツボツ入京して又復元の形態を作りそうな形勢となりつゝあるので警視廳特高課では御成婚に際してそれ等の人々に對し何等かの手段を講じ活動を起すの日を俟つてゐた所突如十九日夜から二十日朝に至つて殆ど一齊に所在を晦ました事を發見し大恐慌を來し各所に尾行巡査を派し大搜査を開始した（東京電報）

出獄後の 堺利彦 病魔に襲はる

共產黨秘密結社事件にて投獄された堺利彦、仲曾根源和等二十名の社會主義者は孰れも保釋出獄したが獨り堺利彦は兎角健康勝れず自宅に籠居して鬱々として病氣に惱み夫人も一方ならぬ心配をして居る、最近愈々病氣募り折々途方もない事を口走るので家人も同氏の舉動に注目して居る其の出獄後の心を亂した原因は一味の出獄後の態度と、同志の殘部、少壯派の非難、其の所謂少壯派の共產黨事件の發覺に於て勞働總同盟との關係其他に仲曾根等に依り共產黨事件の秘密の計畫を總て自白した事を憤慨し堺一派の元老連に叛旗を翻し前記少壯主義者連は今後全然別の一派を樹立する計畫を[illegible]

尿尿運搬にタンク車

來年度から使用の計畫

京城府內の尿尿運搬は現在百餘の馬車で一日四回宛運出して居るが一臺に樽二十個を積載し三石五斗の運搬をして居る然るに樽二十個と作業と被搬等の重量が七十貫、三石五斗の尿尿が十五貫、それに車體の重量を合すれば大分な重量になるので馬の勞力を要すること甚しく且能率の增進から云つても不經濟の餘地があるので從來も運搬具に就ては研究されて居たが出口の所が具合よく行かなかつたが先般尿尿處分所の職工が考案したものに就て試驗をやつた所が結果が稍良好であつたので更に考案を重ねタンク車として使用する筈である從來の樽は一臺約三石であるがタンク車は約三石五斗位を容れ得るので一回につき五斗の差を生じ一日一臺二石の差を生ずる、して見れば全部をタンク車とすれば現在の馬車よりも一日十六臺半分の運搬能率を增加することになる而して此の差額の經費一日約五十圓一ケ年約一萬八千圓位の經濟になる『タンク』は鐵板製で臭氣を防ぎ且溜れ出づる憂なく市街の體裁上から云つてもよく馬の負擔を輕くして能率を增加する上から云つても遙かに有利である尚は一臺のタンクは約八十圓位で出來る見當であるが樽にすれば一個が三圓五十錢であるから一臺分七十圓で殆ど大差なく且樽は三ケ月位に修繕を要するので却て經濟になる只タンクは結氷中使用に困るので全部をタンクに改める事は出來ぬが衞生、經濟、生物愛護の上から見て一部タンク車に改むる必要があるので更に試驗を行ひ結果さへ良好であれば來年度から使用しようかと目下考慮中であると

訴訟書類に僞造印紙貼付

地方法院檢事局で 發見して大活動開始

二十一日京城地方法院檢事局は非常な緊張味を以て大活動を開始してゐる、仄聞する處によれば既に受付けた民事々件の訴訟書類に僞造印紙を貼付して之に氣付かず消印してあるのを偶然にも檢事局で發見したものであると事件が事件だけに極秘裡に取調べられてゐる

廿六日は好天氣

藤原博士の觀測

御慶事當日の天候に付き中央氣象臺の藤原博士は語る 此の順で行くと東京地方は二十四、五日の頃は多少崩るであらうが二十六日はカラリとした快晴となり國民は晴れやかな御慶事日和の中で芽出度御祝ひ申上げることが出來ると思ふ（東京電報）

特務艦大泊 函館に入る

北海道で遭難した碎氷特務艦大泊は其後引續き救援艦春日、桑に依り救援を受け函館の驛に修理に努めてゐたが十九日夜に至り大修完成したので富士が曳航し春日、桑が前後を警戒して二十日函館に入港した因に同艦は當分同港に入渠して艦體の修理を行ひ富士は二十一日朝函館を發し佐世保に歸港の途についた（東京電報）

大杉の骨 又も奪ふ

神戸の融合主義者等が二十日午後一時から兵庫の湊士宗八王寺に於て大杉、伊藤野枝、橘宗一三名の追悼會を舉行焼香に入らんとする際突如數名の靑年が飛出し位牌と遺骨の袋を奪ひ去らうとしたので大騷ぎとなり出張の警官に捕はれたが右は頭山滿翁の乾兒と判明した（神戸電報）

世界一週飛行は際物的事業でない

空中よりアラスカの地勢を描寫 米國海軍卿の聲明

【華盛頓二十日發電】米國海軍卿デンビー氏は代議院海軍委員會に於て海軍飛行船セナンドー號をして全世界一週飛行の途に上らしむべき計畫を說明した右飛行は空中よりアラスカの地勢を描寫する事を含んでゐる該飛行は斷じて際物的事業であつて際物的輕業師等の仕事と混同されては困ると言つた

赤電を運轉

乘客には非常な便利

京城の電車は最終も普通の電車と變つた裝置となつたので遠くなつた乘客は不便を感じて居たが去る十八日夜から內地同樣に最終の運轉する電車には赤のヘツドライトを使用する即ち赤電を運轉して最終だと知らせる事としたので非常な便利となつたが尚一歩進んで赤電の前に青電を一本運轉したなら一層便利となるであらう

犯罪の裏に女

大金を横領した 地方事務所の出納係 共犯は山口で逮捕さる

最近安東地方事務所會計金出納係大河內信近（三）が同事務所の保管に屬する現金三萬五千圓を費消し同二十九日休暇を得て大連方面に旅行し其儘行方を晦ました事は既報したが同人は總督に奉職すること既に十年の久しきに亘り社內の信用も厚く衞務を盛報されて居た所で去年三月前任者長波某の不始末の後を受け當時代務常事務取扱者金澤光信から一號の事務引繼ぎを受けたのであるが爾來同人は安東驛前料亭東雲の抱藝妓桃吉に現を抜かし遊興費に困つた結果遂に惡心を起し自己が現金出納事務係を奇貨として斯くも大金を費消し飽までも巧妙に事實を隱蔽して居たが本事務所でも本人が通常休暇旅行のまゝ歸所期日を經過するも歸所しないのみか一方藝妓桃吉が突然千五百圓の借金を拂つて歸國した事實に若やと訝り狼狽し金庫を開かんとしたが生憎鍵は本人が持つて旅行中なので已むなく合鍵を作つて漸く金庫を開き內部を調べて見ると意外にも前任者金澤光信から大河內に宛た一萬二千圓の借用證を發見し本事件は既に當時より前記兩人の間に不正が行はれて居たこと判明したのであるが金澤だけは郷里山口縣で逮捕され目下安東に護送中で共犯の大河內の所在については所轄署で極力搜査中（安東縣）

東京の天然痘

全市に擴がる

東京の天然痘は今や全市的に擴がつたが二十日芝公園バラツクに三名發生し警視廳は大狼狽して居る（東京電報）

あらゆる惡事を働いた韓玉山

昨年六月二十八日の與論洞事件の際馬賊が鎭平監獄を破つた爲め救け出された咸北會寧生れの不逞漢韓玉山（三）は其後間島各地に出沒して强盜殺人、婦女拉致など數罪を犯し咸鏡裁判にて懲役十五年に處せられて居たが琿春大獄山に捕はれ本月上旬淸津刑務所に收監されたが近く再公判に附せられる筈（淸津）

祝賀飛行中の椿事

露國人技師墜落慘死

十九日正午奉天飛行家張氏第二子の結婚祝賀飛行の際露國人技師モヂウリアチノフ（三）は誤つて二十メートルの空中より墜落し頭部其他に打撲傷を負ひ約二十分の後絕命した墜落の原因は旋回飛行を過度に行へる結果であらうと（奉天特電）

犯人逮捕に毒瓦斯を使用

關東廳警務局の試み

關東廳警務局では犯人逮捕用として今度米國から警察用催涙瓦斯を購入したので之が効果如何を試すべく十七日局長以下各課長並に關係者が該會の上夫及電に對して試驗をした結果効力適確であることが分つた、而して該瓦斯は日本で未だ一度も使用したことがないので此瓦斯を投ぜられると目を開けて居られないのみならず嚔て身體の自由を失ふに至るものであつて近く全管內に配布する筈（大連）

私信は尠い

京城無電の取扱數

龍山にある京城無電局は每日午後二時から二時間宛金澤と鎭南浦無電との間に交信して居るのであるが金澤鎭南浦無電は軍用信ならば直に[illegible]

高松地方に激震

市民は驚いて避難

高松地方では二十一日午前五時十五分上下動の激震あり時節柄市民は震災の夢を破られ屋外に逃げ出したが被害程度は未詳である（高松電報）

謹告

歌留多會開催に就いて府內各會の幹事諸君が熱心にその事に當られ謹會の上田氏が朗吟の勞を採られたことを感謝致します、その他府內各商店から副賞の寄附を受けました、併せて謝意を表します

京城日報社

東京大相撲春場所星取表（○は勝●は負）

（東方）

力士	十	九	八	七	六	五	四	三	二	初
[illegible]	○	分	●	分	○	●	○	●	●	○
西ノ海	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
太刀光	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
若葉山	●	●	○	●	●	●	○	○	○	○
千葉ケ崎	休	休	休	休	休	休	休	休	休	●
能代潟	○	○	●	分	休	●	●	●	●	●
三杉磯	分	○	○	●	○		●	○	●	○
阿久津川	●	○	●	●	●	○	○	○	○	●
大蛇山	休	休	休	○	○	○	○	●	○	●
射水川	○	●	●	○	○	●	○	●	●	○
矢筈山	●	●	○	●	●	●	●	○	●	●
小野川	○	○	○	○	○	●	○	●	●	●
[illegible]	○	●	●	●	○	●	○	○	○	●
琴ケ浦	○	○	○	分	○	○	○	●	分	●
[illegible]	○	○	●	○	●	●	休	休	休	休
藤ノ川	●	○	○	●	●	○	●	●	○	●
白岩	●	○	○	●	○	分	分	●	○	●
清水川	○	●	○	○	○	●	●	●	●	預
鞍ケ嶽	●	●	●	○	○	●	○	休	●	●
陸奥山	○	○	○	●	○	○	○	●	●	●
太刀の海	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休

勝星七十五　負星七十八

（西方）

力士	十	九	八	七	六	五	四	三	二	初
栃木山	○	分	○	○	○	○	○	○	○	○
常ノ花	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大ノ里	●	○	○	分	○	●	○	●	○	○
鶴ケ濱	●	○	●	●	●	●	●	○	○	○
柏山	●	●	○	○	●	○	○	○	●	○
福柳	○	○	○	分	●	○	●	●	分	預
山錦	○	●	●	●	●	●	●	○	●	○
常陸岩	分	○	●	○	休	○	●	○	休	●
司天龍	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
東雲	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
[illegible]	●	●	休	○	●	○	○	○	○	○
兩國	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
錣山	休	休	休	休	休	休	休	休	●	休
常陸島	○	●	○	○	●	○	休	休	休	休
[illegible]	●	●	●	分	●	分	●	●	●	●
光風	●	●	分	○	●	●	分	○	○	●
[illegible]	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
大門嶽	●	●	●	○	○	○	○	●	分	○
梅ケ谷	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○
若常陸	○	分	○	●	○	●	●	○	●	●
綾錦	●	●	●	○	○	○	●	○	○	○

勝星七十八　負星六十三

演藝案內

黃金館 帝キネ共營 每日晝夜 當る二十一日より ▲アリゾナの岩石 一卷 ▲神秘の人氣を集中せる肖像映畫 松本英一監督 現代劇 男の嫉妬 全五卷 森本愛輔、歌川八重子、里見明、御橋公まさ子 謙譲も六階も、あるものけえ！男の怒號から如何なる悲劇と喜劇が生みだされたでせうか ウヰリアム、フエアーバンクス大活劇 猛進 西部の荒鷲 全五卷 ホールルーム映畫 お母さん 全一卷 シドニースミス主演 大活劇 西部の荒鷲

鳥邊山 全六卷 頑く中川紫明氏 名優お夏清十郎、寶川延松 原作・監督 左門、清十郎、櫻川の流れも淸く二人の戀は哀しく咲き誇つた

大正館 松竹共營 每日晝夜 當る十七日より特別大與行 ▲西部猛活劇 ウヰリヤム、フエヤバンクス主演 ▲松竹キネマ株式會社東洋獨占 ファラオの戀 全十二卷 埃及古代史劇 大悲劇

お姫草 全編 高尾光子、柳咲子 松竹キネマ加茂撮影所 沼の傳說

喜樂館 當る二十日より提供 伊太利ヴエニス 蜂の騷動 一卷 ▲大冒險 森林女王 第四回 四卷 ▲ルスローランド嬢主演 彼女の運命 六卷 肉の榮光 六卷

中央館 マキノ映畫 每日晝夜 二十一日封切特選大映畫 天然の美 安政地獄 全七卷

京龍館 右上映の通り 青春の悲歌 全六卷

浪花館 明治町 電話二六〇 二十一日より 五色會

ワダカルシユーム錠

姙婦胎兒を保護し 安産のために 分娩時の障害を除く

格林醫學博士推奬 片瀬醫學博士鑑査（片瀬博士述說明書進呈）

發賣元 大阪道修町 和田卯助商店

新案 理髮椅子 價格回答 製作懇好 大阪市外今宮町中開二丁目五三四 平和病院東ノ辻北入 津田製作所 製造販賣元

遞信局 購買入札

京日案內

色白くなる 色黒き方赤き方ニキビソバカス日にやけた御方は三錢切手封入郵便にて色白くなる良藥を秘密に御知らせ致します 東京本郷湯島六丁目 久保とも子

平壤醫院 ミカド前 電話四二一番

毛皮 各種毛皮並に製造 [illegible]

公債 [illegible]

電話 [illegible]

電話 [illegible]

電話 [illegible]

採用 [illegible]

擴張 [illegible]

觀相 [illegible]

ほねつぎ [illegible]

御不用 の書籍は時價以上高價に買受けます

古本 [illegible]

印刷 [illegible]

店員 [illegible]

入用 [illegible]

募集 [illegible]

高級 [illegible]

募集 [illegible]

牛乳 [illegible]

貸家 [illegible]

貸家 [illegible]

災後の戀（四十三）

上司小劍
挿畫 伊東深水筆

不意の縁談（七）

光多はまたむら〳〵と不快な心持ちを瓦斯の如く胸に捲き起した。が、花枝はちよつと赤煉瓦の三階を仰いだゞけで、むづかしい顔をして、さッさと行き過ぎた。このあたりすべて、花の日ざかり月の夕、二人が手に手を取り合つての散歩區域であつたが、今はもう平和な日の面影が全く消えてしまつた。丁度耳かくしに白粉の濃い花枝が、顔の隠れるほどに溶たお召や、金紗の襟を鋪道に映いた折りの姿を、洗ひ洗しの白地の浴衣に襷をかけ、引つ詰の束髪に手拭を被つた身形に變へたやうに、帝都の姿も貴族から賤民に早變りしてゐるのであつた。間口四丁にも亘るこの大呉服店の前に、停車場と調和をとつて美しく建てられた巡査の派出所が、まるで紙の鎧を着たやうに、立ち退き先や尋ね人の貼紙で、赤煉瓦の肌を隠されてゐる姿も哀れであつた。この丸の内の大名小路へ、本所深川や下谷邊の貧民窟が一時にドッと引つ越して來たのだからたまらない、ぞろ〳〵と歩く人々の行列は全く百鬼夜行の圖である。汽車も電車も動かないのだから、停車場の各室は無料宿泊所となり、高架線の上に焼け殘つた汽車や電車にも避難民の一族が住み込んで、窓にお襁褓が乾してあつた。戀愛が普通のことゝして通る世の中が來たのだ。これからどんなに恐ろしいことがあるかも知れないと、光多はおぼえず身慄ひをした。ほんたうに、色の戀のと言つてゐられる世の中ではないといふ心地も少しは起つて來た。

しかし、いつもならば、たとへ殺すと言はれても、こんな身形では大路を歩くまいと思はれた花枝が、白粉も香水もなしに、肌を殘陽に曬して、平氣で歩いてゐるのを見ると痛ましくて痛ましくて、光多はこれによつてまた更に強く戀心を萌られた。死んだとて、この女には離れるものかと思つた。

鍛冶橋を渡つて、大通りの人の波を突き切つて、寂しい横通りの假小屋へ歸つて見ると、花枝の父母は案外機嫌よく差向ひに酌つて茶を飲んでゐた。バラックの普請に來てゐる大工の好意によつて手に入れた一升罎ばかりの番茶が、どんなに父母の荒み切つた膓を和らげたか分らぬのであつた。饅頭菓子もそこにへギの皮のまゝ投かれてあつた。甘いものに飢ゑてゐる母親も、この粗末の饅々しい甘味には閉口したと見えて、半分だけ食べたらしい饅頭の殘りの半分が、これも大工の好意でバラック用材の端を切つて臺にした飯櫃の間に合せに拵へた茶盆の端に載つてゐた。火鉢には茶の湯の風呂の焼け跡から赤く爛れて掘り出されたのが、共まゝ役に立つて、これも焼け跡から掘り出した鐵瓶を載せて、チン〳〵と湯を滾ぎらしてゐた。この鐵瓶は唐の寶り物でなくて、茶の間の使ひ料であるのを、光多もよく見おぼえて知つてゐた。最初の地震で逃げ出す時、母親がこれへいつぱい水を汲んで長火鉢へかけておいたので、其の水の鍍つたところだけが黒く元の色を留め、それから上は、赤く焼け爛れて染分けのやうになつてゐた。ちやんと蓋を載せたまゝ、灰の中から掘き出されたといふことを母親はよほど感心した風で、幾度も言つた。『もつと早く灰掘をすれば、まだ〳〵いゝものが出て來たんだが、だいぶ盗まれたよ』と、父親は言つて、寂しく笑つた。

京日文苑 投稿募集

短歌 四『春季雑詠』尾上柴舟選
俳句 題『氷解』内藤鳴雪選
川柳 題『犬』井上劍花坊選
締切 二月五日（各題共）
賞金 天一圓半、地一圓、人半圓
注意 一題一人三句、各題別紙、用紙端書、雅號住所明記、京城京日社『京日文苑』の事
其他 各地會報歡迎

短歌（尾上柴舟選）

課題『秋季雑題』——（六）

◇ 豊前平佐（平原）
夜を通るこの麥畑に月さして露かも白くうち光る葉よ
朝日こがさすやをかべの笹の露白くも見えて秋ふけにけり

◇ 村松楓陵（京城）
夜を深み眠ざめて庭に出でてみれば月高く澄みて木立動かず
醉ざめの水飲まむとてながしばにあかりともせば蟲啼きやみぬ

秀逸 岡 鄭美（晉州）
秋は來ぬ來む凋落のかなしみにさきだちてポプラ黄を浴みにけり

同 津田みどり（金澤市）
靄とどかぬ溪にこもらふ山の水夕つめたく殿にふれつゝ

同 澤 輝子（京城）
山原の草生の紅葉我が行けばはた〳〵の飛ぶ音の冴ゆるも

同 栗野 民郎（京城）
夕餉たく煙くろずみ騒ぎつゝ淋しき貧棄膝にかゝれり

同 西澤 稜（鎮南浦）
冷え〳〵と更け行く夜の一所道路工事の人等動けり

同 板垣 修（京城）
朝の日は高くのぼりて圓菰刈る男は沼の眞中にいでぬ
秋の雨をやみし谷の陽を汲み濡れすだれより上る湯氣かも

俳句（内藤鳴雪選）

題『寒雀』…（七）…

○平壤 挹翠
どんよりと曇る日癖や寒雀
○京城 呑詳
米磨ぐや前に後に寒雀
○仁川 正樂子
銃音にパッと起ちけり寒雀
○京城 博樂
寒雀群り來て暖暮るゝ
○龍山 田鶴
笹の露物ね落しけりかんすゞめ
○平壤 勇
枝の雪落ちて飛び立つ寒雀
○京城 晉波
鶏の餌を寒雀來てつゝきけり
○宜川 寒屆子
鐘氷る朝とて雀鳴きもせず
○京城 寒村
寒雀枯木に丸くすくみ居り
○龍山 東羅
寒雀炊ぎ女と親みぬ
○龍山 骨水
米研げばこゝにも來るよ寒雀
○平壤 朴堂
鶏の餌のそれも拾ふや寒雀
○龍山 華女
隣箱の蓋に下り來て寒雀
○龍山 東生
井戸端に隠れて居るや寒雀
○京城 有年
寒雀日ねもす啼きて空袋る
○南川 鈴子
大屋根や暮れて友呼ぶ寒雀

赤燈新年句會（第二報）

鈴下獣の 音晴やかに 初詣　赤光
初詣 隣に友を 誘ひけり
初芝居 人足繁き 宵の頃　銀月
朝まだき卓に音あり初仕事
屠蘇も出て與一入や初句會　竹雨
鴫の町 ほこらせて 初荷車
窓押せば木々晴やかに初明り　栞舟改
初日射す庭の木立の雀かな　柴水

新しい出版物

▲外交時報（一月十五日）内政上の機會均等（半澤玉城）會議外交（立作太郎）日支の國民的諒解（臼井哲夫）國際上より觀たる戒嚴令（泉哲）世界的外交不振時代（稻田周之助）秘密外交か公開外交か（亀井順一郎）其他（五十錢東京麹町區下二番町六八其社）
▲新聞及新聞記者（一月十五日）大朝専務上野精一氏の歐米新聞界視察談及び最近諸問題に關する長文の報告は最も興味と内容に富む讀物であり其他德富蘇峰翁の新聞記者訓綜合編輯と經濟記事の位置扱ひ方。現代記者のチームワーク式活動等の研究的記事等讀むべき物多く殊に全國新聞界最近消息は紙上を賑はしてゐる（三十錢東京京橋區南鍋町二ノ五新聞研究所）
▲金の星（二月）日本歴史童話號 沖野岩三郎、稲松霞樹、鈴木重正、霜田史光、小島政二郎の諸先生の有益で然も面白い日本歴史童話を始め童話童謡其他漫畫諸國奇談等澤山に紙上を賑してゐる（四十錢東京市外田端三五一金の星社）
▲娯樂世界（二月）吉原名妓初代高尾（展已三郎）赤穂義士木村岡右衛門（挑川桂玉）天保水滸傳笹川繁藏の最期（神田伯山）其の他落語仇討逸話美談奇談小説絶解小説歴史小説等金無一粒選りの讀物ばかりである倚は大懸賞の賢捜しもあり一層興を添へてゐる（六十錢東京日本橋區檜物町七其社）
▲露聖（一月）二十錢東京市外中井町二六五無我苑▲京城藥ゝ（一月）一ヶ年二圓京城本町二ノ七一其社

讀者

鶏狸へ 一群の雌雄の偶數は雌の有力者の強弱に依り大差ありますので一概して杓子定規的に極めたものではありません。普通レグホーン、在來種とも一雄に對し十五雌以內は安全な處でせう又單に食用卵採取の目的で飼育ひならば雄がなくとも能く產むもので す（京城商柿苗場田中生）▲『當籤して喜ぶ保險金』『當外れたる保險金』『戻いて喜ぶ保險金』『放火は何れかしの保險金』（保險研究員）▲『當籤すれば早死ね』『共濟を的の誤か保險金』▲昨年の發生れの雛牝大御奮闘の方に譲ります電話光九一の安へ（舟橋町二〇六の安藤錦）▲粉インキの使用法を御教へ下さい（幸）

眞人短歌大會

兼題『雛』即題『歩み』

眞人社主催の第一回短歌會は二十日午後一時より蓬萊町の眞人社に開催、出席者二十一名で兼題互選の批評の後即題『歩み』を題詠し午後十時閉散した

兼題『雛詠』

最高點 浪久 静湖
裏山の松におこりし風のおと凍りてすめる空にひびくも
△ 水瀬 志津子
うつり來し家のしづけさ新鮮のにほひほのかにこゝろすがしも
次席 寺田 光春
風おちてひつそりとせる小笹原夕陽隈なく照りて明るし
△ 西村 秋芳子
あたゝかく降りいでし雪のいつしかに雨となりつゝたそがれにけり
三席 安本 靈光
陽に溶けて雪の崩るゝ篠竹のそり返る葉の色のすがしき
△ 赤木 倚
ピンと響く甕の凍りて割れぬらし音の聞えて靜けさ増す
△ 松永ただし
朝の夢さめてさびしきわが心まみとぢれば涙こぼれつ

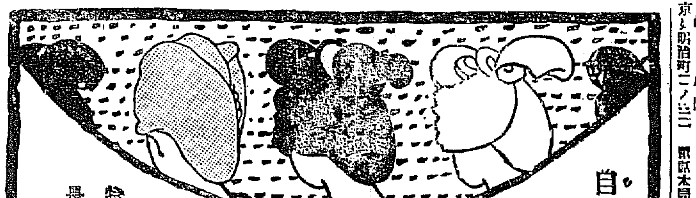
題詠『歩み』

最高點 細井 魚袋
歩をとめて鳥羽の岬にみさくれば管の島かとうちかすみをり
次席 小方 柳生
歩み來る人影さやにみえざれど闇に響きて下駄の音聞ゆ
次席 小方 柳生
めぐし子の歩み初めける喜びに其足元をみつつ笑へり
三席 細井 魚袋
松山を良とゆけば枝を折るひびきさやかに谷に聞こゆる
四席 松永ただし
そぞろにと今宵もおのれ醉ひしれて歸る夜道に雪積りたり
△ 市山 啄雄
夕日の光りつめたき山路の風に吹かれて佇みにけり
△ 吉松 園久
しかすがに轉地に出づるうれしさよ歩みつかれて陽に浸りゐつ
△ 寺田 光春
空ふかく風のわたれる夜のくだち身をちぢめつゝひたに歩むと
五席 松永ただし
夜を寒み雪の街ゆくわが下駄のきしみさびしき音たつるかも
△ 松永 素秋
雪あとの陽の照る明き脚の道歩み久しく眼の疲れかも
△ 寺田 光春
まりをつくいとけなき兒の可愛ゆきに驚かさんと歩みよりけり
△ 松永 素秋
明けぬるかはや我が家の前をゆく人の足音かそかに聞こゆ

▲一見忽ち全巻に漂ふ肉の香に醉はん！
裸體美人寫眞畫集
◇◇キャビネ形 ◇◇二十四枚綴 ◇◇紙質極上等 ◇◇印刷鮮明
大好評 第一輯廿七版 第二輯十九版
各冊金壹圓七拾錢 代金引換送料廿錢 前金注文送料八錢

絶世の美人が大膽にも赤裸々に現せる曲線美の美術的にして如何に魅惑なるか、雪白の肌、豐滿なる四肢實に藝術的傑作としての價値たるべし
▼又と得がたき稀代の珍寫眞▲
希望者はハガキで新聞名を記入し【第何輯】送れと申込次第發送す
東京麻布富士見町六 振替東京四九四八四 正文社

痔疾專門 入院隨意
京城久枝肛門病院
京城明治町二ノ三二 電話本局二一〇二番



まらが赤毛染
ナイス
自然の黒髪より漆黒の色艶にそまる
特長
二十分にて染り艶々と美しく
襟、枕につかず
褪めず、はげず
用法至極手輕
發賣元 東京・大阪 丹平商會

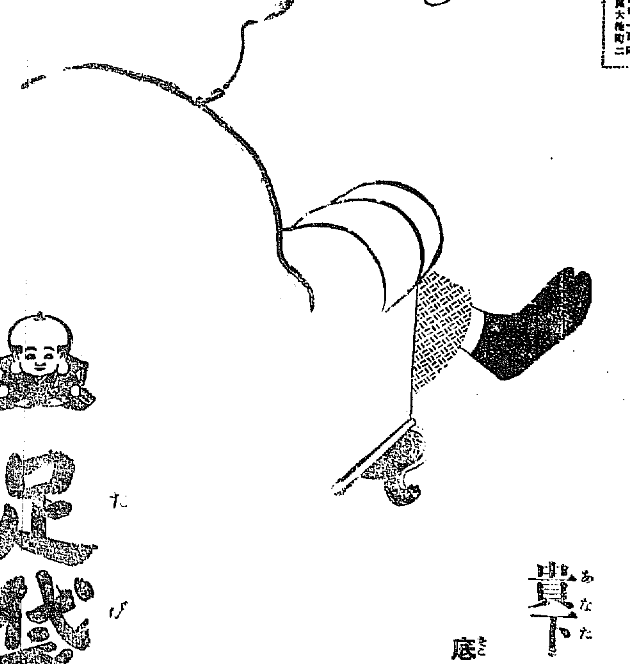
ホシ小兒專門藥
一 小兒と大人とは体質が違ふので從つて藥も亦區別しなければならぬことは誰方にも、たやすく解る道理であります。
二 ホシ小兒專門藥は此の理由で研究され製出されたもので、小兒の藥として最も進歩したものであります。
三 其種類七種各々目的に向て顯著なる効力があるので小兒藥中の最高權威として廣く世の中に認められる樣になりました
ホシ小兒胃腸藥
ホシ小兒下痢止
ホシ小兒下劑
ホシ小兒風藥
ホシ小兒祛痰藥
ホシ小兒疳の藥
ホシ小兒虫下し
東京大崎 星製藥株式會社

內科 小兒科
村上病院
京城府永樂町一丁目（商品陳列館前） 電話自宅三五六七 病六一三番
院長 醫學士 村上龍藏

おいしくて良く賣れる
最上醬油
仁川萬石町
高杉醬油釀造場

仁川
佐藤病院
院長 ドクトル メヂチーネ 佐藤小五郎
電話四〇九番
入院隨意

ビオフェルミン
腸疾患治療及其豫防劑として奏効を確認せられたる糖化菌含有乳酸菌製劑!!
本劑は乳酸菌の腸内制腐並整腸作用と糖化菌の腸内澱粉作用とが彼我相通じて卓越なる整腸消化作用を發揮すべき完全乳酸菌製劑にして既に數年來醫界に於て最も重要なる藥劑として公認せられたるものなり。
適應症 諸種の腸疾患、小兒綠便、常習便秘、脚氣、慢性腎臟炎、糖尿病等。
本劑に關する説明書は發賣元より郵呈す。
粉末及錠劑あり、全國知名藥店に販賣す。
製造元 神戸市二宮町 合資會社 神戸衛生實驗所
發賣元 大阪市東區道修町 武田長兵衛商店
（143）



貴下の責任
底の白い新しい足袋
いつ見ても新しい足袋を召してゐる方がありますね。その人格が偲ばれるではありませんか。底の白い新しい福助を常にお穿きになる事は、紳士としての務めとでも言ふのでせう。
足袋は福助
福助足袋株式會社

貨物輸送禁止布告

米國軍艦墨國派遣

多少でも國の御役

京城日報

（朝夕刊合せて十頁）

本紙定價 一箇月金壹圓 …… 廣告料 ……
京城太平通一丁目
發行兼編輯人 泥谷良次郎
印刷人 小川三之介
發行所 合資會社 京城日報社
電話光長一〇〇番 長四〇一番 振替京城三三〇〇番

……である。併し米國は上部に日本は北部に無電所を建て、三國の問にて調整、何れの國の獨占をも取消同時に無電條令を發布する筈であると報じらる」

……するが故障は起て成績良好なる爲め支那側は非常に……して判斷を豫想せざるものは漸く支那電報に收容……

……が所と募集したので……十一日より數日に亘り三省大佐以上の軍人……三省の大官も皆來てゐるので更に民間の主なる者や佐官以上の……

……日程左の如し
一、國都法中改正法律案（政府提出一部會）
二、右調案の審査を附託すべき……
十六の老臣でも國家の御役に立つならばと渡米の意を漏らしたが出發は三月頃となるであらうと

京日詩壇

監獄法が近く改正される。何しろ監獄署といふ名稱が、耳障りだといふので、刑務所と改稱された位だから、名は實の賓といふのに、名稱ばかり變更したのでは工合が惡いんだらう、などと馬鹿にしてはイケない。理論上にも實際上にも改正の必要があるから、研究に研究を重ねて、改正することになつたのだらう。

◇が然し、研究が問題であり、研究とさへ云へば、變に新しがらなければならないものゝやうに、學者も政治家も、役人も商人も、老人も若い者も、皆そう考へて居るやうな常態だから、何でも新しげな理窟さへつけば、夫れで可い。といふ程度の研究ではないかと、それが氣遣はれるのである。

◇第一より證據だ。監獄署を刑務所と變へたつて、ソレに何程の意義があるだらうか、可笑しく氣取つた新しげな理窟は、附會すれば出來ないことはない。吾人もいろ／＼と理窟を聞かされはしたが、名稱變更の効果が、實際ドレだけあるといふのだらう？、効果も全然ないとはいはないかも知れぬけれども其效果たるや甚しナンでもないのである。既に從來刑務所と稱へて居るとして、刑務所では何うも工合が惡いとて監獄署と改稱したとする。それにも矢張り何かの効果はある。若しかすると監獄署を刑務署と變更するよりも、刑事政策の見地からすれば以上の効果があるかも計られないではないか。

◇夫れ許りじやない。刑務所なる名稱も、追ひ／＼人の耳目に馴れて來れば、監獄署と呼ぶのと、何等人の感じに相違があるものか。然るを世間が、名稱の變更を歡迎したのは事實だ。總てが上つ辷りをして居る、こんな調子だから『研究』だの『研究の結果』だのに對して、浮かり氣が許せないのだ。

◇改正さるべき監獄法の表紙には、何ういふ名稱が書かれるか。ソンナことは何うでも可い。刑務法でも可からう。又成るべく目障りにならぬやうな名稱を、お芽出度く日比野神宮の神主にでも頼むで考へて貰つても可いだらうが、サテ其の改正の內容が例の上つ辷りでは大變だ。

◇聞く處に依ると『囚人に對し或程度までの自由を認め』『改悛の情十分なる者に對しては從來の監視を廢し』『在監中自由に讀物も讀ませる』等のことが、改正の主要な點らしい。其の改正は結局に於て數年來の懸案であつたのを、過般の大震災に當り、横濱刑務所が囚人を解放した時に、囚人が大に人間性を發揮したことから、當局は初めて『囚人も人間だ』といふ信念を得たので、改正と決したらしい。……の女囚の許に、夜な／＼其夫を招致せしむることを許して、大に人間性を味はひ、且味はせた其には人間性を認めたので、そこで其の上に大いに人間性を發揮しやうとトテモ及ばないけれども、司法當局が、アノ大震災のショックを受けて、囚人に立還つた囚人に、いふ評判は、決して惡いことではないが、夫れが未決囚イヤ夫れよりも嫌疑囚？……變な稱呼だが之に相當するものがある……に及ぼされなければ完璧と云へない。ろ上つ辷りと評ふべきであらう。

特權內閣とは何事ぞ

內閣は下院のみが占領すべきでない

首相氣焰を吐く―組閣祝賀會席上

【東京電報】肥後倶樂部では十九日夜上野精養軒で淸浦首相の組閣祝賀會を開き細川護立侯の祝辭あり之に對し淸浦首相は一場の答辭を試みたが其の中に左の如き一說がある

世間では頻りに特權內閣と言ふが私は貴族が內閣を組織したからとて何も特權內閣とは思はない貴族は歷代皇室に對して功勞ある者の後裔であつて特權階級とは言へません而も貴族院が內閣を組織するのは憲政の逆轉だと申す者もありますが國家に兩院制のある以上衆議院が內閣を組織するのが不思議でない如く貴族院が內閣を組織するのも別に不思議とは言へません申すまでもなく貴衆兩院の權限は同一であつて輕重はありません先年樞府で兩院の權限問題につき論議せられ上奏御旨を賜はつた時陛下より『憲法上議會の權限につき貴衆兩院に輕重なし衆議院は豫算先議權あるのみ』と仰せられてゐるに見ても明かであります然るに衆議院でなければ內閣を組織する事は出來ぬことにすれば政黨內閣こそ特權內閣と言はねばなりません一體私は……であると人も稱し私も左樣に思つて居りますが……と言はれるかも知れぬが併し斷すべきは斷乎として決行する考へであります

首相官邸記者招待會

【東京支局特電】二十一日午後三時より永田町の首相官邸にて首相の新聞記者招待會を催し、各新聞記者を招待した今年は御慶事と震災後とて賑かにあり首相は七十五歲の老齡とはいへ矍鑠として元氣にて邪の長い顏が今日は一段と長く見へた▲或る人が『何うかチョイ／＼こんな會を開いてもらへたい』と言へば首相は言下に『イヤ豫算も節約の際だ、そう滅多には遣れない』と答ふ▲江木千之翁も今は文相として時めき今日も堂々たる態度で乘込んだ若者ぢやないヨナ／＼と杖を突きながら……文相は今度入閣するに就て大分家庭の反對もあつたやうだが翁は何家庭の反對位は何んでもない國家の重大事には替へられないとて入閣を承知したと、第一に其心掛こそ見上げたものだと客側の誰彼れが噂して居る▲江木翁眼をしばたゝき聞こえぬ振をする▲倫敦タイムスの外交記者が松井外相を取り圍んで盛んに握手を交換し話をしてゐたが其態は英語の先生にまつはる中學生の樣だつた▲斯くて食堂を開いて首相の挨拶あり主客歡を盡して五時散會した

各派交涉

議長室で開會

【東京電報】衆院二十二日以後の議事に關して二十一日午前十一時半より衆議院議長室に於て各派交涉會を開く筈であるが廿二日は主として御慶事に對する賀表奉呈の件を議する模樣である、首相、外相、藏相の演說は見合せて一週間位の休會となる筈で各派交涉會に代表を出席せしむる事も尤も二十一日朝までに衆議院事務局に通知する筈で確定次第政黨は第一黨として中央に席を占め從來と多少の變動を見ることになつてゐる

新政黨の畫策

山本內閣成立期待

【東京電報】新政黨に對し政府並に研究會は表面第三者の如く裝ひ居るも實際は積極的援助を爲しつゝあるは明かにて鄕田米次郞、鈴木喜三郞、小橋一太、大木、川原、上野の各代議士頻々として各所に集合謀議を凝らしつゝあり即ち之等の會合の主題は議會解散後の選擧に對しては云ふ迄もなく解散後の總選擧には水野內相の下に巧妙なる選擧干涉をなし新政黨の爲有らゆる手段を講じ斯くして政府は適當の時期に內閣を明け渡し新政黨の山本內閣に大命降下せしめ場合に依りては更に議會を解散し以て議會の多數を獲せん策戰であると

新政黨は

候補二百五十名

【東京電報】新政黨は來る總選擧に少く共二百五十名の候補者を擁し絕對多數を得んと畫策中にて其立候補者に對する補給を三級に分ち當選確實のものには一萬圓以下順次之れを補給する筈であると

入黨者が多い

第三回發表―單獨入黨十五

確實數合計百卅三名

【東京電報】第三次新政黨入黨議員發表は二十日午後九時新政黨本部に於て左の如く發表された

單獨入黨者

小山田信藏　宮古啓三郞　市村貞三　渡邊修　廣瀨鎭之　磯田条三郞　池田泰親　島本信二　加藤紋右衛門　吉原祐太郞　菅野善右衛門　內山…衛　本多…郞　高柳…　北井…助

即ち二十日迄の入黨者は都合百二十一名は確實にして二十一日の各派交涉會迄には尙二十名を纏め得べしとなれ共確實ならず今回運動中にて二十一日朝迄に十名は獲取し得る見込である

本部を奪はうなどとは

以ての外だ……小川平吉氏談

【東京支局特電】芝の本部では幹部派を中心とした居殘り黨員及院外團の大會が擧行せられ、地方の黨員集まるもの約一千餘名政友の爲め最後の一人となるまでをモットーとして意氣軒昂たるものがある總務小川平吉君曰く

政友會は多年絕對多數維持の爲めに改革が思ふ樣にならなかつたが今回は愈々其時機に達した脫黨派では脫黨議員を百五十名と稱して居るが夫れは恐らく宣傳に過ぎないと思ふマア一兩日の中には確實の處が分かつて來る假令百五十でも二百でも脫黨者は脫黨者であつて一人でも殘つたものは政友會の本黨である世間では新樂中の政友會本部の建物を脫黨組が奪はうとして居る樣な事を傳へて居るが如何に理窟に暗い人間でも其家から逃げ出て緣切れになつた者が其家を繼いだり其家を取得すると云ふ譯は絕對にあり得ないと思ふ政友會の本黨と脫黨組との……

下院自發的休會

不信任案の上程は廿九日

政府は愈々解散を斷行する

【東京電報】帝國議會の還り初日は二十一日から開かれるが二十一日は別に議事開かれず二十二日は本會議日で今年は政界の大變局により政府不信任案の提出あるべく若し二十二日に恒例の如く議事を進むる時は直ちに同日議會解散を免かれず斯くては御大典を控へ恐懼に堪へざるを以て屢報されたる通り衆議院は自發的に休會し御大典を平穩裡に送り二十九日の本會議に於いて愈々淸浦首相の施政方針演說を爲す可く而して野黨三派の淸浦內閣不信任案を上程さる可く淸浦首相は左の如き理由を以て解散を命ずることゝ成ると思はれ

近來政局の上に變化を來し從つて國民信望の存在する政黨も不明瞭となつて來た感がある依つて國民の信望が院內何れの政黨に最も多く存在するやを詳かにせんが爲めに解散を必要とする云々

閣議（廿一日）

【東京電報】二十一日の定例閣議は午前十時首相官邸に開會松井外相より最近の外交問題に關し報告あり次に各省の復興豫算問題及教育延長問題等に關して協議した

三派領袖申合

紅葉館における協議會

【東京電報】政黨革三派領袖の時局に關する協議會は二十日午後八時芝紅葉館に開會出席者政友會野田、岡崎、小川、横田、三土、小泉（策）松本の諸氏憲政會濱口、下岡、安達、望月、降旗、小泉（又）田中の諸氏革新俱樂部犬養、古島、大竹、添田、西村、林田の諸氏出席先づ三派の世話人を代表し小泉策太郞氏の挨拶あり夫れより時局に就き意見を交換し且不信任案提出の時期に就き協議し尙決定に至らず左の申合をなした

一、政黨內閣制を確立する事
二、特權內閣の專橫を阻止する事
三、此目的貫徹の爲め將來一致行動を取ること
四、以上の趣旨に則り淸浦內閣を否認すること

尙各派より三名の交涉委員を選……

政友大會開催

數は減つたが質が良くなつた…と

悲痛なる總裁の演說

【東京電報】政友會臨時大會は二十日午後二時半から芝公園政友會本部に開會出席者は野田、岡崎、小川、横田、三土、松本の各總務、……の各顧問、武藤、……の諸氏の外各地方代議士並に黨員約五百餘名出席し、先づ望月幹事長より開會の辭あり次で會務報告があり、……氏を座長に推し議事に入り左記宣言を決議し次で總裁の演說あり……

一、會務の報告は前回の臨時大會後の補缺當選を得た井大師氏福井縣より坂茂輔氏外十二名除名、更に十八日山本達雄男外……の退會屆を受取り次で十七日川原茂輔氏外十二名除名、更に十八日……

總裁演說

諸君帝國は……財界不振と共に人心弛緩の極に達し……物質上に容易ならざる情勢に相成つたのであります……政界の險惡を通ぜる國民の……として政策確立の見なく國民其の適從する所を知らざる有樣であります……其の實質は勿論國民の……に溯つて……諸君が……と決心は憲政を……國家の爲に……せん事を切望致します

上院質問通告者

【東京電報】貴族院二十二日再開劈頭首相外相藏相演說に對する質問通告者は左の如くである

▲副島道正伯（研究會）▲藤山雷太（研究會）▲佐々木行忠侯（同成會）▲山脇玄（無所屬）▲中川良長男（純無所屬）

横田總務演說

只今總裁の演說を拜聽したが余は去る十三日先般大岡氏より火急話したいとの申込があつたので同氏邸を訪ねると大岡氏は足下は淸浦內閣に對し如何に考へるかとの問ひに對し『この際倒潰あるのみ』と答へたるに對し大岡氏は大いに滿足の意を表せられた

宣言

先帝不磨の大典を宣布し給ひしより三十餘年、憲政有終の美尙未だ濟らず政權の歸趨動もすれば其の機を失し繆戾現內閣に至りて谷まれり。今にして之を糺革せずんば政道益々否塞して憲章の本義漸に泯滅せんことを虞る。宜しく維新の宏謨を奉體して大權の眞髓を闡明し憲政の基礎を確立して君民同治の實を擧げざるべからず。若し夫れ內外施政の問題に至つては屢次の宣言に之を盡せり。故に今茲に贅せず。

政黨の分裂は改革の第一步

革新大會席上犬養氏の演說

演說要領

【東京電報】革新俱樂部大會は二十日午後一時から上野精養軒に於て開會犬養氏を始め所屬代議士及全國より參集せる俱樂部員三百餘名出席、關直彥氏を座長に推し議事に入り宣言を一致にて可決し次ぎに犬養氏より一場の演說あり盛會裡に五時散會した

革新俱樂部大會席上犬養氏のなせる演說要領次の如し

時局に關する事件たる實に國體の成敗を左右する事件として政事を超越したる重大事件として政事を決したものと見るの……化の改良である變化とまでは……人心の傾向殆んど適從に迷ひつゝある狀態であり……

……興せんとするものである然も總數一千にも足らざる寺院階級の選に係る貴族內閣を根據とする內閣の出現は時代錯誤の最も甚だしいものである加之ならず現內閣成立の事情に於いて宮中、府中の別甚だ分明ならざるを疑ふのである元老の國家樞機に干涉するを改むるにあらざれば遂には累を皇室に及ぼす虞れあるのである現內閣が如何なる政治を行はんとするかは其の行を見る迄もなく其結果を推斷することが出來る聞く處に依れば現內閣は假に選擧法改正をするとの事であるが現閣員にして昨日迄之に反對の意見を抱きたる人々が假に主張を變更する實は不誠實も亦甚だしいではないか志あるもの誰か之を信ぜん寧ろ今や總べて改革更新の機に到著したのである內閣の其源地も革新すべし貴族院も改革すべし貴族院も改革すべし穩てを改革して始めて茲に新生面を拓き新世紀を生ずるのである政友會の分裂は其黨弊を除くに効果がある政黨分裂其のものの政黨改革の第一步である之よりも更に一步を進むれば立憲的の道の常程によるのである

議會が解散となれば

豫算に手數を要する

『用向は御盛典參列と議會出席』

東上の途、車中にて齋藤總督談

東宮殿下御成婚盛典參列並に議會出席の爲め齋藤總督は夫人及び守屋秘書課長松村秘書官を伴ひ他を帶同十九日朝出發東上したが途中釜山迄で見送りたる記者に對して大要左の如く語る

今少し早く東上する筈であつたがどう／＼今日迄延期することになつた。しかし身體はもう大丈夫だ、ただ強て言へば……が勝れぬので今度の……である今回の東上の主なる用務はこの二十六日に執り行はせらるゝ東宮殿下の御盛婚の盛典に列し謹んで御慶典を拜し奉りたい爲めである申すも恐れ多いことではあるが、この御盛典もつと早く御舉行相成るやうに聞き及んでゐたのであつたが

昨年の彼の震災の關係からして御延期に相成つて居つたのである茲に大正十三年の新春の勞頭に於て極めて意義深い御慶典を御擧げに相成られることは吾等臣民齊く慶祝措く能はざるところであり、……

……府と皇國に感謝して邦家をして益々泰山の安きに置き……を盡すことを期せねばならぬのである。今一つは二十二日から開會のことになつてゐる第四十八帝國議會に出席するためである。以上の

主な用務

であるが議會の方は目下の形勢では頗る穩ではなく彼大政黨の政友會が分裂―新政黨の出現―それからそれへと渦を卷いてゐるし新聞の報ずるところから判斷すると、この分ではどうせ解散は免れまい。ソレも議會劈頭に於て遂ぜられそうであるから萬一然うなると朝鮮豫算の說明などは要らぬで議會は早く明かすむ譯で或は二月早々歸鮮することゝなるかも知れぬ議會が解散しても五ケ月以內に臨時議會を召集することになつて居るから大體に於て國政の運用上には何等支障は無からう。然し議會の解散と言ふことは朝鮮としては甚だ困ることがある、ソレは議會が解散になる時は昨年度豫算を踏襲することになつてゐるのであるが、すると事業公債の打切りに對する善後措置の問題があるからである。しかしこれも內地に於ても災害復舊事業や復興事業の問題等があるから何等か解決を付け事業の遂行には差たる困難を招來せずともすむことゝなるであらう云々

望月幹事長挨拶

我黨は今回多數の脫會者を見たと述べ次ぎに高橋總裁は病氣の爲め出席せずとて各府縣の……會に遠へられ……總務から一場の演說があつた次に松田氏は山本（悌）氏を通じて所感を陳述する所あり次いで議事に移り宣言案を議題一致異議なく可決四時散會

山林當面の三問題

赤松改善、紅松養殖、松粘蜘驅除

西村殖產局長語る

山林當面の問題に付西村殖產局長は左の如く語る

朝鮮の山林に就ては素より種々の問題があるが先づ當面の問題として本府で研究しても居るのは赤松の改善、紅松の養殖、松粘蜘の驅除方法等である。所で先づ

赤松の改善

より見ると

これは京城以南は殆ど赤松ばかりであるが、一體に山野が荒廢すると、其國の山野は赤松ばかりになると云ふ人がある。然しそれは山野荒廢した國に赤松があると云ふ譯ではなく、山野が荒廢しても赤松だけは成長する性質を持つて居るのである。これが爲山野が荒廢すれば自然赤松ばかりになる譯であるが、して見ると、そうした土地にでも成長する樹木であるからこれを改善して

立派な赤松

を成長せしめねばならぬ事が大に必要である。そこで殖產局としては先づ其の種子を選定する方法として、直幹の赤松を增殖せしむる方法等を研究しつゝあつたのであるが、これに就て先づ朝鮮を通じて直幹の見事な赤松がある所と云ふ事を、朝鮮全體に亙て調査すると同時に比較的朝鮮と氣候風土を同一にして、內地の土地の內で、そこに直幹の赤松はないかと云ふ事を

久しく調査

して居た。そして若しそれがあつたとすれば其種子をとつて植栽する事が、最も手近い方法であると云ふので頻りに調査を續けて居たのであるが最近に於て朝鮮の某地に約十五町步ばかりの見事な赤松林を發見する事が出來た。これは朝鮮として甚だ喜ぶべき事で、直ちに此山を先づ國有にとる事を命じて置いたが、これに因つて先づ其種子を試驗し、

其上一般に

獎勵して之れを增殖したいと思ふ。この見事な赤松林を發見したと云ふ事が先づ朝鮮としては甚だ喜ぶべき現象である。

茶話

故伊藤春畝公の遭難で……十月……夜……として長逝した……▲……は……正に六十一歲、……て曾に朝鮮に來つたのである▲明治十七年の……に……して……身を捧げつゝ生涯の幕を閉ぢたのである▲その君の爲し……は可なりに多い、茲に謹んで君の冥福を祈る▲扨も風か……しめてゐる議會は廿九日迄で休會ときた▲つまり休會は解散と言ふ奴だ▲淸浦首相は特權內閣と云ふので組織する內閣なら下院のみで組織する內閣も特權內閣だと云ふ▲時代錯誤の一種の特權內閣だとある▲時代はモウ深く考へて賢明な態度をせなければならなくなつた▲單なる揚げ足とりや罵詈讒謗に耳を貸すだけではすまされない▲要するにあれもこれも他山の石である、國家的な態度を以て國家的な行動をとることだ。

人事消息

▲時實秋穗氏（京畿道知事）御成婚御盛儀に參列の爲鈴木秘書課長同伴二週間の豫定にて二十一日午前京城驛出發東上
▲李龍根氏（寶林敎々師）二十日全 慶北へ出張
▲玄伯仲氏（全北知事）廿日夜入城不知火へ
▲楊少將（張作霖使節武官）御婚儀獻上品を攜へ二十日午後十一時十分京城通過東京へ
▲島永太郞大佐（關東軍司令部附）事務打合の爲め十九日夕入城二十六日歸連の豫定

氣象日報（廿二）

二十一日朝高氣壓は支那內陸に移動しそれより半島を經て本邦方面に向ひて低減しつゝある南支那北部も氣壓稍低し全鮮一般に晴天で氣温は昨朝より五度乃至十度低く西境方面は零下十五度以下に下つた二十二日京城は晴後曇氣候は稍溫暖となるであらう

天氣豫報（廿二日）

晴 後曇

廿一日正午 攝氏零下四度四 華氏二四度一
二十日最低 攝氏零下一六度三 華氏二〇度五

節約の目標 一足一冬
ビタニオ
オニタビ
本舖 寺田合名會社
東京市日本橋區大傳馬町

生徒募集
朝鮮總督府 京城帝國大學豫科
一月中旬より……
朝鮮總督府學務局內開設事務所

裡里 官立農林學校生徒募集
募集人員 第一學年 農科約五十名 林科約三十名
第二學年 農科約三十名 林科約十五名
出願期日 大正十三年二月二十日限
詳細ハ本年一月十五日朝鮮總督府官報廣告ヲ見ヨ

果樹 苗木 內外植物 及生產樹園
兵庫縣川邊郡山本
二月一日ヨリ苗木移出發送開始ス御注文ハ今ノ內ニ……

純石綿製 文化的 千代田灰 實用經濟
本品は火鉢其他の灰として使用せらるゝのみならず不慮の火災なし防火の目的を達することも出來ます
特約店 龍山漢江通十六 小田村周助商店

帽子附屬品及原料卸商
京城黃金町二丁目
大阪 田中富商店出張所
電話長本局一八三〇番 振替京城八〇一〇番

捕雀用網上等絹綿製
カスミ網
高サ六尺三尺 三間四十錢
高サ六尺三尺 五圓五十錢
……
朝鮮京城永樂町 吉備商會
電話本局……番 振替……番
捕雀の時季は今です カスミ網は小供でも取れます一時に數羽位は容易、捕れます から晚餐の御菜のみでなく樂みと運動にもなります

記念運動場の追加十五萬圓
豫算は今年度の支出は一萬圓
差當り民有地を買收

御成婚記念運動場グラウンドは愈々具體的成案が出來上つたので昨二十日中に府協議會を開き追加豫算十五萬五千圓を計上し三ケ年間の繼續事業として實施する筈であるが此の內本年度支出は一萬圓で十三年度に七萬圓、十四年度に七萬五千圓を支出する事に略內定して居る由であるが本年度支出の一萬圓はグラウンド擴張に要する民有地の買收費に充當するので其の經費の財源としては龍山漢江通り三番地なる府有土地一萬二千坪を賣却して其一部を當分資金として流用する由で一方現在訓練院の西部グラウンドの二萬四千坪の內約一萬坪位の官有地の讓與を受ける事に諒解を得て居る由である

御成婚記念の警察文庫
京畿道警察部の事業

京畿道警察部では御成婚を記念する爲め記念事業を計畫しつゝあつたことは既報の通りであるが二十一日警察文庫を新設することに決定した資本金は第一回を千圓として各警察署官から寄附金として醵出する、文庫は警察部に置く、文庫に收容する圖書の種類は職務上の參考又は研究資料修養、常識涵養に關する圖書である、そしてこの冊數を二十七個に分つて各警察署に巡回せしめて閱讀せしめる、一巡回數を終つた圖書は巡査教習所の自修室に格納して隨時部下の警察職員に讀ましめることになつてゐる

詠進歌台覽
皇后陛下へ

三室戶御歌所事務官は十九日の歌會始めの詠進歌を捧持し二十日沼津御用邸に伺候　皇后陛下の台覽に供した（東京電報）

天機奉伺
總督か總監ら

廿一日は大寒の入りに付き總督總監は天皇、皇后兩陛下並に攝政宮殿下、秩父宮殿下、高松宮殿下、澄宮殿下へ同日午前十一時半頃電報を以て天機御機嫌を奉伺した

李王殿下　廿一日大寒の入りに付天皇、皇后兩陛下並に攝政宮、秩父宮、高松宮、澄宮各殿下へ天機並御機嫌奉伺方李王家賛司高羲敬氏を以て總督に依賴ありたるを以て同日午前十一時半頃直に長官電報した

虎の皮、白熊の皮など數々の御祝品を携へて
張作霖氏使節の東上

東三省巡閱使張作霖氏の慶祝使節として保安總司令部參議楊宇霆氏は司令部顧問本庄少將其他八名と共に廿日午後十一時五十分京城通過釜山參謀長其他の出迎へを受け東京に直行したが張作霖氏より我皇室に獻上する御祝品は左の六種で都合六個の箱に收めてあつた
虎の皮二枚▲白熊の皮▲其他獸皮數種▲緞子百匹▲綢子二反▲王如意一
右は慶祝使節より宮內省を經て皇室に獻納せらるる由

逝去した城法院長と其の筆蹟

城法院長逝く
二十日午后五時―窒扶斯狀肺炎
朝鮮司法界の元老

京城覆審法院長城數馬氏は去る五日から風邪で引籠り養生中であつたが二三日前より病候に革まつて窒扶斯狀肺炎を併發し、遂に二十日午後五時逝去した。氏は元治元年八月七日福岡縣久留米市に生れ明治二十一年帝國大學法科大學卒業後官界に入り同二十三年には司法省參事官に昇り、同二十四年には大審院判事兼參事官に補せられた、同二十六年民間に下り同四十年まで東京で辯護士を開業した、偶々伊藤總監印綬を帶びて朝鮮に蒞まるゝ時招かれて渡鮮し拔擢されて今の高等法院の前身なる京城控訴院長に補せられた、氏は不惑を越す僅に四年の壯年で時は明治四十一年擾亂ぶ五月初旬に赴任したのである、氏の明晰な頭腦と卓越した腕とは相俟つて、併合當時の混沌たる司法界を能く料理したのである、同四十五年官制改革と共に京城覆審法院長に補せられて現在に及んだのである、在職實に十七年我朝鮮司法界の元老であると同時に恩人であつたが、天此人に齡を藉さず六十一歲を最後として逝去したのは惜むべきものである、勳位は正四位勳三等であるが多分特旨進級の御沙汰があるだらうと豫想されてゐる、因に未だ喪は發せられてゐないので葬儀等に就ては未定である

年始廻りが發病の因

同法院の木田判事は語る『私は遊びに行きまして種々な話をして二時間ばかり話を聞いて歸りました、其際上京の話が出まして、總督總監も早晩中央に出馬せられねばなるまいなど語られました、何んでも五日に年始廻りに行つて歸つてから突然發熱したのが原因だとの事でしたが、豈夫こんなに急に逝去せられようとは思ひませんでした、院長は何時でも壯健してゐられる方で私共は不健康な顏を一度も見た事がなかつたのです』

專門家に劣らぬ高山植物の研究者
寫眞も却々熱心だつた
吉田覆審法院部長談

京城覆審法院吉田部長は沈み勝に『院長を失くして誠に惜い事をしました、お話ですか誠に嚴格な稀に見る人格者ですから面白い逸話などのある筈がありません、私は殊に永い〳〵薫陶を受けて一方ならぬ指導に預かつたものです、今更思ふと……院長は高山植物に就いては非常な……たい位だつた……つて見ると……述べられてあ……熱心な方で初められたのは……一家に於……家に行……栽培した鉢が……それから……ひます、實に角惜い事をしました』

煙草も酒も嫌ひだつた
非常な攝生家

同法院の中野判事は語る『院長は非常に攝生に嚴格なさる方で煙草も酒も少しも用ひられなかつた、殊に南山町の池田醫師に每日診察して貰はれてゐたと聞きました、甚に角嚴直な人でしたから……何とも申し樣もありません』

零下十三度の國境で騎兵の耐寒行軍
一名の落伍者もなく士氣旺盛

龍山騎兵聯隊大野隊長以下五十四名の國境耐寒行軍一隊は廿日午後三時新義州に著した一行は十三日京城を發し十四日北鎭に下車一泊し十六日清城鎭十七日昌城十九日玉江鎭を經て再び義州に引返し零下十三度の寒氣を冒して大野隊長の現地講話あり二十日新義州著之にて無事國境耐寒行軍を終り二十二日朝出發歸隊の豫定である二十一日朝鮮屋旅館に大野隊長を訪へば左の如く語る
『一行は自分の外五十四名である大正七年一月元山に耐寒行軍を擧行した以外は旅次行軍を爲さず從つて今回の行軍は本隊として空前の壯擧である始め自分は國境の寒さを氣遣つたが一名の落伍者もなく何れも士氣旺盛であつたことは非常に喜ばしい事である又行先々で歡迎を受け中にも昌城の如きは非常なる歡待をして呉れたことは大に感謝する次第である尤も同地は日露戰爭の時小倉騎兵聯隊が古戰した土地で當時自分は聯隊旗手少尉として出征し大に懷舊の情に堪へず此の歡迎に對し感謝の意を表せざるを得ない更に今始めての試みである國境耐寒行軍が無事に終了し今や新義州府民の歡迎を受けたことは何より喜ばしい次第である（新義州特電）

耐寒飛行の五機出發
けふ新義州へ

平壤飛行隊の國境耐寒飛行は二十二日から五日間新義州に於て決行される事となり二十日夜西尾少佐以下隊員百五十名新義州に安着日勝館に投宿したが二十一日は朝より飛行場たる那裨所隊の陸場に地均し作業其他の準備中である飛行機は昨年の第一回は三機なりしも今回は五機で二十二日午前十時前後して平壤出發十一時著の豫定である（新義州特電）

和歌山縣の記念事業
殿下御手植樟樹植栽

和歌山縣では來る二十六日の東宮殿下御成婚記念事業として縣下三十の町村立學校官衙其他縣廳及郡役所に一齊に樟樹植栽する事に決したこの樟苗は大正十一年十二月皇太子殿下が四國大演習後和歌山縣へ台臨あらせられた際縣立農事試驗場に於て手植遊ばされた苗木である（和歌山發）

鐵橋爆破の陰謀發覺
犯人嚴探中

東拓線鐵道線路大和田、稱呂間第二鐵橋下に去る十日大號二個を仕掛けて爆破を企てたものあり幸ひに巡邏の工夫が發見し事なきを得たが新義州署にては時節柄此事件を重視して署員を督勵し嚴探中であるが新義州府內三十名の靑年を一々召喚し取調べた結果件の爆彈は新義州線工事用のものと判明したので……

二八强盜
京畿道楊平

京畿道楊平郡江下面里七三七番地金聖九（三〇）方へ武裝せる二人組の强盜が押入り一名は見張りして家人を毆打した後聖九を高手小手に縛り上て脅迫文句を並べて現金を强奪逃走した急報により所轄署では非常線を張り犯人嚴探中であると

俄に殖えた控訴の取下げ
御慶事當日を以て行はれる恩赦に預らうとて

京城覆審法院に受付けてゐる刑事々件の取下げが近頃になつて急に殖えた原因は此度皇太子殿下の御成婚に就て囚人に對して恩赦があることを豫想して早く服役して恩赦に浴することが出來なければ其恩典に漏れるので急いで取下るものらしい、一月に入つてから受付けた刑事の件數が四十一件で被告の數が五十人になつてゐるが二十一日迄取下たのが三十人を越してゐる同日の如きは午前中に七人も取下を願ひ出てゐたが同三時中にはズッと殖えるだらうと觀測されてゐる、右に就て西大門刑務所の役人は語る『御成婚のあることを在監者が知つてゐる譯はないけれど、新に入監した者から次ぎから次ぎに云ふのでせうと思ひます』

物產獎勵會の行列禁止
鍾路署から

朝鮮物產獎勵會では舊正月元日（二月五日）が創立滿一週年に相當するので平壤會が數日前より……して協發し當日は仰々しく宣傳行列を行ふてビラを撒布し或は講演會を催す計畫があるので鍾路署の高等係では二十一日午前委員三名を召喚し嚴重斯かる戶外行動は絕對ならぬと嚴しいお達しがあつた

出刄を振廻して暴れる
解雇された板場

府內明治町二の四一番地飲食店中尾方板場徐錫泰（三〇）は大酒飲みで酒癖があるので十九日解雇されたのを憤慨し二十日午後二時頃何處でか泥醉して中尾方の隣家魚屋安藤平太郎方に立寄り鋭利な出刄庖丁を借りて懷に呑み込ませて中尾方に赴き貸金五圓を要求したが聞き入れないので出刄を振廻して亂暴して居る處を本町署に檢擧された

院主內地旅行の處今廿一日歸院診療に從事致候
京城本町郵便局左側 サクラバー北隣
ドクトル 三品齒科醫院

空家から軍用銃
取毀し中に發見
引越しの際忘れたものか

府內通義洞元外國語學校に隣接する外人所有家屋は數年前より腐朽して空家同然であつたが數日前より該家屋の取毀工事に着手した處押入から軍用銃一挺が現れたので同校より東大門署に屆出た、警察では何者かゞ該銃を隱匿し何事かを企謀して居るのではないかと探査した結果該家屋に嘗て居住せる外人が狩獵時に使用せる銃を移轉の際置き忘れたものであらうと云ふ事になつた

女につき纏ふ
二人の醉拂ひ

府內西四軒町一三番地李奉植（二八）昌信洞四九番地金振孝（二〇）の兩名は二十日午後五時頃鍾路通で泥醉して居つたが苑洞一一三番地金斗源（三）と云ふ女が權漢洞八九番地張某を訪れ歸宅の途にあるを見て執拗く同女の後に附纏ひ居るので詮方がないので最寄り交番に飛び込み保護を申込んだので醉漢兩名は直に逮捕さる

東京大相撲
東京大相撲千秋樂勝負左の如し（名古屋電報）

勝		負
緑ヶ嶽	（より倒し）	一ノ濱
清水川	（下手なげ）	大門岩
常陸嶽	（おしきり）	阿蘇ケ嶽
紅葉川	（あしとり）	光
朝潮		錦風

中入後

勝		負
外ケ濱	（つりだし）	白岩
常陸島	（より倒し）	藤の川
小野川	（より倒し）	綾錦
若常陸	（よりきり）	矢筈山
山錦	（おしきり）	鞍ケ嶽
福柳	（渡しこみ）	阿久津川
琴ケ浦	（おしきり）	大の里
射水川	（おしとり）	常の花
陸奧山	（よりだし）	鬼風
三杉磯	（分け）	常陸岩
清瀨川	（まき落し）	柏山
能代潟	（上手なげ）	鶴ケ濱
栃木山	（おしきり）	若瀨山

賀商新年宴
京城賀屋組

京城賀屋組合の新年宴會は二十日午後六時から旭町京喜久に於て開催されたが開宴前に會務報告及役員の改選を行つた、前取締役橋本茂雄氏は役員として前後十三ケ年內取締役として七ケ年勤續したのであるが今回態々組合を脫し主として社會事業の爲め修養團に專念努力する事となり取締役を辭任したので改選の結果中村十郎氏が取締役に大塚幸太郎氏が副取締役に當選した宴に移るや中村取締役の挨拶あり之に對し谷府尹來賓を代表して挨拶を述べ盛況を以て九時散會した因に現組合員は六十七名である

人蔘湯

二十日逝去した城覆審院長は本年八月で停年に達するので退官したら田舍で畑をイヂクッて暮すと記者に語つて居た▲出生が元治元年であるから本年と同じ干支の甲子である、甲子に生れて甲子に逝去した譯である▲鄉里で殆と隔日に會ふ記者に對して政界も面白くなつて來ますネと何時でも莞爾して語つてゐた風貌を想ひ出すとまるで夢のやうである

優勝旗は秋風會（井手）へ
本社主催全鮮歌留多大會
朝鮮、滿洲の猛者九十餘名出場
激戰あかつきに及ぶ

本社主催全鮮歌留多大會は既報の如く二十日午前十一時から黃金町二丁目武德館樓上に開催した、朝來雪模樣の空は次第に晴れ渡り錚々たる銀世界、凜烈肌を刺す寒風を衝いて遠近から續々來り集つた各會選手は續々詰掛ける、仁川〈〉會では神大上田氏夫妻に前年優勝旗を獲た前田選手、市村、河瀨、有竹等の新進に京城支部よりは高田老將を始め門田、具、二神、川崎等の新進約十二名あり、ギでは加藤、佐々木、酒井、河原崎等新たに陣容を立直した友溪會では奧野谷田の諸將に木下、大坪、北野、大川等の新進を陣頭に立て、醫專の學生を中心として來た嵐會では古市、黑木、田吹、松岡等七名、美矢飛會よりは村田白石の主副將を陣頭に大久保その他の新進十七名を選び高商の梟會では原、西川、田中、田代、山崎、木野、白水等で秋風會では三輪、井手、熊谷等の新進が轡を並べて出陣した外今春大會の唯一の興味であつた大正九年度に突如滿洲から大會に參加して優勝旗を攫し去つた安選手は屋田選手等と共に安東から錚々たる選手揃ひで出陣し朝鮮斯界の錚々たる選手等と一擧に雌雄を決すべく遠征し昨年仁川〈〉會の新進前田を向ふに廻して最後優勝戰まで取進んだ金選手も水原〈〉會から來り會ひし總數九十一名に達した

優勝旗返還式
愈々競技開始

午前十一時半各會主副將始審判員各選手整列し優勝旗返還式を擧げ昨年の保持者前田正三君から本社に返還し直に第一回戰に入つた、上田氏の朗々たる吟聲は徐々に進んでゆく、今日を第一の選手の指端は電光石火のやうに去來する其度に勇ましい拍聲が起る

第一回戰　美矢飛會の鬪將板倉は期の新進加藤の爲めに無殘の死を遂げ、年少選手くれない會副島選手は美矢飛の副將白石の爲めに一枚一枚の處まで漕ぎつけたが不幸にして取られ、野砲隊の間田は眞松間の爲めに同じく安積は……

勝　負
連　門田見　無所屬　吉勝

第二回戰　午後三時半から
美矢飛の松田の爲めに敗れた、美矢飛の鬪將大幸は秋風の錚々たる三輪選手の爲めに惜しくも敗れた
第二回戰に入つたが偶然にも各會派の主腦者の顏合はせが頻出し非常に興味ある番組となり觀衆は立錐の餘地もなく闘技する逸に至つたのは折角雪を衝いて來た觀覽者の爲めに氣の毒であつた、選手の意氣は凄ましいもので場內は流暢な朗吟の中に一種凄慘な氣合の聲が迸しる、斯くて美矢飛の鬪將湖角は安東から會から遠征した文の爲めに敗れ、連會京城支部の新鋭川崎は美矢飛の老將村田の爲めに敗れ、永原曉會の主將久選手は昨年の意氣なく秋風の井手の爲めに傷づき秋風の鬼塚又嵐の新鋭田吹の爲めに破れ秋風の三輪は嵐の主將古市と顏が合つたが遂に敗れ嵐の副將孤林は嵐の黑木の爲めに敗れ連會本部の鬪將河瀨は安東の屋田の爲めに連京城支部の二神は美矢飛の新進大久保の爲めに惜死した、形勢は漸く安東の有利に競技は彌々白熱化して來た

同	前田	秋風	大海
同	池田	嵐	西村
秋風	熊谷	美矢飛	大久保
同	井手	連會	有竹
同	屋田	嵐	黑木

第四回戰　斯くて火蓋を散らすやうな激戰を重ねて三勝者の競技に移る、戰陣の戰士の所屬は嵐會三名、連會三名、秋風二名、美矢飛一名、安東二名で勢力は何れも伯仲の間にある競技の成績は連門田見は八枚を殘して古市の爲めに破れ嵐の柳は九枚を殘して秋風井手に敗れ、秋風伊井は安東の文の爲めに四枚を殘して憤死し熊谷は前田の爲めに敗れ連の新進池田は能く村田美矢飛主將に抗戰したが時に利あらず二枚を殘して斃れ嵐田吹も一勝の活躍を殘して來た安東屋田の爲めに敗れた

嵐	古市	連會	門田見
安東	屋田	嵐	田吹
同	古市	泉會	三村
同	柳	連	白石
美矢飛	村田	秋風	川口
安東	文	嵐	松岡
安東	前田	同	伊丹
連	井手	嵐	柳
秋風	井手	嵐	熊谷
美矢飛	村田	連	池田

第五回戰　遂に安東二名、嵐、連、秋風、美矢飛各一名を殘すことになり非常に興味が加はつて來た、これまで非常に取り進んで來た安東から會の文は古市の爲めに四枚を殘して破れ美矢飛の村田主將は九枚を殘して前田の爲めに破れ安東屋田は秋風の井手の爲めに敗れた

第六回戰　白熱した競技は愈々二十一日午前に入る午前二時嵐古市、秋風井手、連前田の三選手のみとなる端數に依つて抽籤の結果秋風井手は不戰一勝と決り、嵐主將古市連會の龍見前田との對抗となり勝負は終に伯仲遂に一枚に一枚になつて兩派互に兩派選手の手に汗を握らせたが古市は遂に武運拙くして前田に讓つ

優勝戰
井手遂に勝つ

午前三時半秋風井手と、連前田の最後の優勝戰となる場內は寂として聲なく吟聲のみ朗々として響く、兩選手とも今を最後の決戰必勝の意氣に燃えて凄壯なものがある井手は非常に積極的の戰法を執て躍進する前田は酒人の如く默々又默す、電光石火のやうに拍聲は走る戰は持久戰となり、井手は漸次好調に五枚になり前田は未だ十五枚あり、前田頻りに挽回せんと努めたるも井手は攻勢續く同時に守りを堅くして容しめず、午前四時五十分に一枚の差を以て遂に秋風會選手井手常哉君の優勝に歸し、前田正三君は時に利あらずして惜くも憤死した

入賞者

午前四時半競技終了と共に金賞參列優勝旗並びに賞品を授與した入賞者は左の通りで優勝旗は結局秋風會の井手君の手に歸した

一等	秋風會	井手常哉
二等	連會	前田正三
三等	嵐	古市彬夫
四等	美矢飛	村田武一
五等	安東	文德治
六等	同	屋田國榮
七等	嵐	柳正夫
八等	同	田吹賢夫
九等	秋風	伊丹
十等	連京支	門田見耕作
十一等	秋風	熊谷幸平
十二等	連本	池田浩二

寫眞說明
寫眞ある人々（右より）二等の前田君、一等井手君、三等古市君

警戒中の赤い汽船　船員頗る憤慨す

……

著陸場　深草練兵場に特別設備

……

張氏の婚禮祝

……

なか〳〵盛ん

……

松葉泥棒　京畿道……

……

謹賀新年
活版印刷
並諸帳簿
大邱府上町
大邱印刷合資會社
電話長一四六番

謹賀新年
大邱公立高等小學校
金子直江

謹賀新年
大邱府元町
大邱魚菜株式會社
電話二四七番

謹賀新年
大邱府八雲町
小口組大邱支店
主任 馬場國藏
電話長六五番

脊髓すべき病
脊骨突出身體曲り背くさり腰折み手足痺れ歩行困難……
例を有する名醫の專門名藥あり申込次第說明書進呈す
兵庫縣明石市仲町　太平堂製藥所

正月大賣出し
一、ニッケル腕時計　自四圓至二十圓
一、銀側腕時計又は懷中時計　自九圓至三十圓
一、十八金腕時計又は懷中時計　自二十五圓至五十圓
携帶用品一切、蓄音器、易者……
平壤府櫻町八〇號　相澤商會
天賞堂……
型錄進呈

大正　京日愛讀者優待券
ファラオの戀　十二卷
京城日……

前妻國子儀
病氣の處不相叶本月八日午前三時十分永眠……
……
父 太田端昇
夫 太田端俊
親戚 同
友人 一同

長男勝儀
……
父 平山政十
平山高美
田川
守山新格
北野善松
田中牛四
牛丸潤
陣之內
外田
中村
方

金牌受領
三宅堂

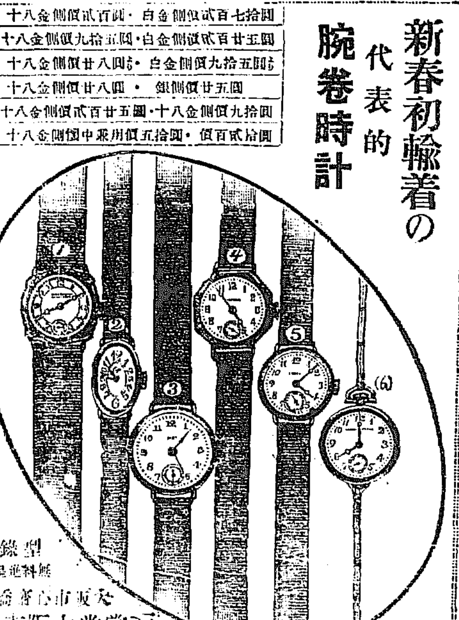
永年苦む神經痛レウマチ摩擦療法
不思議な摩擦の力で强い藥を心地よく肉に擦り込み……
東京製藥社
東京市外品川七の一五四六

血尿いたみ　ウミこしけ　五日で止る
りん病七日藥
本劑は永年實驗强力藥男も女も痳病……七日間服用せよ、大阪市堺筋八幡筋通停北
電話南七三六三番　山口藥院

寫眞と自働車
京城寫眞館
京城自働車
電話本局一〇四一番

新春初輸着の代表的腕巻時計

(1)	十八金側價貳百圓・白金側價貳百七拾圓
(2)	十八金側價九拾五圓・白金側價貳百廿五圓
(3)	十八金側價廿八圓・白金側價九拾五圓
(4)	十八金側價廿八圓・銀側價廿五圓
(5)	十八金側價貳百廿五圓・十八金側價九拾圓
(6)	十八金側懷中兼用價五拾圓・價貳百拾圓


型錄無料進呈
大阪市心齋橋
天賞堂大阪支店
電話船場七三三・一四三一

復興外債成立か

【東京十九日發電】日本復興外債成立米國市場に於て[illegible]交渉の筈である[illegible]利子は五分半との說當局者[illegible]應募付買入の間に傳へられてゐる

大阪中央局の大損

對米爲替のレートを誤つて

【大阪電話】對米爲替相場のレートが近來銀行と郵便局との間に著しき差違があるのを爲替ブローカーや貿易業者が見ぬいて銀行で取組爲替を郵便局に持つて來る樣になり大阪中央郵便局では十二日もこの爲め八萬圓からの損をした數日前にも神戶の一外人が神戶から自動車で中央局にかけつけ二十萬圓の亞米利加爲替の取組を求めたが郵便局でも漸く銀行よりもレートが高い事が判り斷つけて取組を拒絕し僅く一萬六千圓程の損を免れたと

全鮮金融

預金貸出增加

昨年十二月末に於ける朝鮮內各地組合銀行の預金貸出を見ると預金總額一億一千二百二十三萬三千圓貸出總額一億四千五百七萬九千圓であつて、之を前月末に比すれば預金に於て三百四十六萬九千圓、貸出金に於て百十五萬圓各增加して居る。預金の增加したのは節季に際して一般收入の撒布代金が稍囘收された關係もあらう、貸出し金の增加が振るはなかつたのは一時盛んであつた米穀資金の放出が一段落を告げた後に於て新しき投資材料なく、殊に震災後の年末とて一般に消費節約を實行した結果が商品の取引を萎縮に比し少からず、一ヶ年末決濟の進むに於てであつた際に資金の需要を喚起しなかつたのが主なる原因であらうと思ふ。併し之を前年同月に比すれば預金に於て五百三萬九千圓貸出金に於て千百六十四萬九千圓何れも增加を示して居るから越年と共に年末に於ては大體に於て左したる收縮を見るに至らざるべく、加ふるに舊節季を目睫に控へて居ることなれば或は却て相當の需要を來すかも知れない。今朝鮮內各組合銀行の預金貸出を昨年十二月末と前月末及前年同月末とを比較すれば左の通りである

▲預 金

	十二年十二月末 千圓	前月末 千圓	前年同月末 千圓
京城	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁川	[illegible]	[illegible]	[illegible]
釜山	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平壤	[illegible]	[illegible]	[illegible]
元山	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大邱	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲貸 出

京城	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁川	[illegible]	[illegible]	[illegible]
釜山	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平壤	[illegible]	[illegible]	[illegible]
元山	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大邱	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

殖銀貯蓄預金

殖産銀行貯蓄預金は大正十二年末五萬一千百七十七人五百五十八萬二千四百四十八圓七十三錢なりしが昨年末は六萬五千八百四十三人[illegible]百三萬二千百九十九圓四十錢と一萬四千六百六十六人百四十萬九千七百五十圓六十八錢を激增し更に大正十二年は九千八百五十八人百八十七萬一千百六十九圓を激增し年末現在高は次の如くである

普通貯金	[illegible]	[illegible]
殖産積立	[illegible]	[illegible]
定期預金	[illegible]	[illegible]
据置預金	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

手形交換減少

十四日より十九日に至る京城手形交換高は二萬四十枚千百二十萬二千四百四十五圓七十錢にして前週に比し一萬千七百七十三枚二百一萬二千二百十三圓の減少で前週迄增加の一途を辿つて居たのがこの著しき減少を示すのは年末決濟が一段落を告げたのと一は舊正月前の取引閑散を語るものではあるまいか、次に種別交換高を擧げると

	枚數	金額
小切手	[illegible]	[illegible]
爲替手形	[illegible]	[illegible]
約束手形	[illegible]	[illegible]
預金手形	[illegible]	[illegible]
郵便爲替	[illegible]	[illegible]
債券及利札	[illegible]	[illegible]
雜證票	[illegible]	[illegible]

銀行取引停止

京城手形交換所一月十四日以降十九日に至る一週間に於ける銀行取引停止處分者は合計六名にして前々週の十一名に比すれば五名の減退である

組合銀行休業

京城組合銀行は去る十八日の金曜會に於て來る二十六日の御成婚日は各行一齊休業と決定した

朝鮮取引所問題に就て（五）

仁取仲買組合副組長 三井一三（寄）

先づ歷史を見よ、手近な仁取は是迄只一圓一錢も賠償して居ない（大正八年の疑獄事件は別である）內地に於ては四十有餘年の歷史を有する東京株式取引所は如何にといふに大正八年迄に百十二萬圓しか賠償して居ない、大阪株式名古屋株式、神戶株式取引所は如何に賠償して居ない京都取引所は如何にも創立以來餘程賠償して居ないと回で三萬二千餘圓を賠償して居るに過ぎない、數十年間に數億圓にも上る取引額に對して一流取引所にして實に此の狀態である、然らば取引所は賠償すべき場合に逢着しなかつたかといふに決してそうではないのであつて賠償責任を回避したのである如何にして責任を回避するか、取引所が市場權を掌握して置て之を濫用するのである、根據整理の市場の秩序維持とか、不穩當の相場を現出する爲とか、不穩當の相場を現出する虞ありとか種々美名口實の下に賣買を差止めるか甚しきは市場を閉鎖するのである又是迄に行かなくとも賣買を抑壓禁止的の多額の臨時增證據金を徵するのである。此の事實例は各所に枚擧に遑ない公知の事實であつて今更絮說を要しない所である而して取引所法令に何等の規定なき變通自在の道を辿つて解合を敢行するに至るのである多くの場合取引所が陰に陽に之を強制して來た、市場を閉鎖した時賣買取引の當事者たる仲買人は如何にしても他によるべき道がないのである今少しく人情論から說いても微妙なる眞理がある、荀も取引所の重役又は支配人として株主に對する責任上若し萬一にも十萬圓なり二十萬圓の賠償をするとしたら何うであらう恐らく一期の配當は皆無となるから責任觀念に基いて先づ自己の立場を失はざるを得ない、假令自己を犧牲にしても株主の迷惑とする所であつて好感を以て迎へらるゝものでない人情に即したならば誰か自己の會社に進んで損害を及ぼすべき策を採り得る者があらうか如何に犧牲に勝つて居ても、賠償責任の回避を重役又は責むる理由は毛頭もないる何人の罪か余は結局制度の罪である

巨利を收むる會社

利取締令の發布は取引所に何等の痛痒を感じないが取引員は亂高下の相場に戰々兢々苦心慘憺たる狀態であつた朝鮮に於ても利息制限令がある金を貸しても元金千圓以上は年二割以上の利息は取るを得ない（實際にはあつても）然るに取引所は賠償責任を負ふ理由の下に年三割五分七割甚しきは十割もの多額の利益を得られる、少しく具體的に述ぶれば東京株式取引所が明治十一年以來定期取引に依る手數料收入額は合計五千餘萬圓に達して居る、尤も此の內には賠償責任の擔保料と計算手數料を合んで居るとしても此丈多額の手數料を徵して賠償した額は百十二萬圓に過ぎない即ち收入手數料の二厘に當つて居る

雜記帳

▲京局保險が遲れて定期界は人氣が盛り立たず外債成立も一向材料にはならぬやうだ▲株式界が不人氣だから商況は益々閑散、仕入れ手控へで大阪方面との爲替取組も減る一方らしい▲僻しい世の中は人氣次第だから政局が安定したら無氣力がぐると認めて外國商人の購買が見られるかも知れない▲有價證券の頭取も社債募集其他の要件を帶び近く東上の筈である。▲實は京城地界の始末なので出京を延期したとの事▲京城鐵道の減配說が盛んに傳へられてゐるが今度の總會は監理其他の諸問題で賑はふ事だらう▲拙井理事の辭任說は全く嘘報らしい、

海外經濟電報

【二十一日著電】大きの如し

英米爲替四弗二十三仙四分ノ三（四分ノ一安）

スチール百弗二分ノ一（二分ノ一高）

アナコンダ三十七弗丁度（不變）

倫敦銀塊三十三片二分ノ一

米棉三十錢高

商品市況

	東京	大阪
內地金利（十九日）		
無條件	……	一七〇
翌日物	……	一七〇
月越物	二一〇	二〇〇
六十日物	……	[illegible]
普通割引歩合	二五〇	二五〇

日銀帳尻（十八日）

發行高	一、三二六、八九九
正貨準備	一、〇五六、七五二
限外發行	一五〇、一〇七
貸出高	五六二、七六九

玩具（弗々）從來一般嗜好の玩具が東京製品なりし丈け一時一割乃至三割方の暴騰を見たが生產筋に於ても年中の最需要季たるクリスマス、正月を控へての折柄一寸これが復興を計りし結果案外早く本位に立ち戻つた年末年始にかけては小口商內ながらも商掛けは一般に良好であつた近來の嗜好はといへば從來の陳腐なる玩具がすたれてゼンマイ物木製品等の自働的なものが喜ばれる樣になつた

半襟類（閑散）京都物が最も愛用せられて居るが一般不況を見越して生產控へに品薄を報じ例年よりいくらかの上値を呼んで居るが買氣は全く振はずたまに動くものは安物の三等品四等品計りで模樣はといへば藤色か濃い黑色の無地物で二圓から三圓見當處である

一般家具類（不振）

種民地的貿易生活者割合に多く將來を慮り成る可く不用品を省き目先必需品の安物買ひに拘て加へて震災後一般家具の品騰を見たため單に當用補充品の小口商內のみに限られ斯界は不振のどん底にあるものと觀られて居る

株式（廿一日）

商狀下支模樣

前場寄安引高 後場大新小高

一昨後場大引跡大阪大新八十八圓三十錢引の小安き入電があり今朝更に八十七圓九十錢の寒氣を入れて氣配悲く短期大新はマバラ買方の總投げに呼び寄り付八十六圓九十錢と大阪より一圓方下鞘の四十錢安に始しも吉見筋猛烈に買進み折柄大阪八十九圓臺の引返しを添へて八圓ドタ迄戾し跡七圓八九十錢六七十錢を步んで七圓八十錢と打止め結局五十錢方引締り京取は買方の見送りに三十四圓二十錢と新株は見送り長期は京取當三十四圓二十錢と小安かりしも先四圓七十錢と小堅く其他は出來ず大體保合の商狀を呈し不勢に大引した

▲後場は大阪大新八十八圓八十錢の小戻しを入れたが人氣添はず短期の大新は只過剩株の減少と一部大阪買緊きに八十八圓六十錢と八十錢高に寄り付二十錢開さに鞘寄せを爲し跡大阪九圓五十錢の引返しに九圓ドタと乘せたが大阪の八圓七十錢を聞いて八圓五十錢と打止め結局七十錢高京取は四十錢高仁取は依然新甥共出來ず安取は二十錢安長期は京取を始め一齊に見送り不勢に大引した

此鼻保合ふか

大新は今朝大阪の八十七圓九十錢寄を入れてマバラ買方の總投げとなり寄り付八十六圓九十錢と前日の最安値に鞘合せをなし跡大阪八十九圓臺を入れて七圓八十錢と引返し却つて前日より五十錢の引締りを示した爲めに當市場の狀勢としては早くも目先の灰汁拔けではないかと見る者も生じ更に大阪の大引九圓三十錢を入れて突込買の警戒の人氣となり來れる保合を示した而して大阪市場に於ては目下米國に於て交涉中の外債成立見越しも存外好感薄く買り氣依然旺盛を呈し且つ四國の事情は寧ろ買り方に味方せんとする材料が合理的に擡頭しつゝある際とて餘程的なければ容易に昨今の人氣を挽回することは至難であるとせられ殊に中旬貿易も勿論巨額の入超は免れざるべく外債の成立も人氣を刺戟するだらうが前記の如く買氣旺盛を極める折柄と云ひ到底活氣ある商狀を望むことは六ヶ敷いものと見られ同時に此邊まだ灰汁拔けとは見られず矢張小高下の保合を持續するの外はないだらうと見られて居る

京取軟調含み

京取株は大阪の瞬落も余く鈍感に強弱共金融社の拘株處分發表待ちに見送つて居り相場も亦無氣力なる保合を續けて居るが今後の事情に對しては只金融社の拘株處分が買方に一樣の望みを繫がせて居る丈で而も其結果が果して強材料たるか否かも見當が付かない有樣で

安取買計畫說

安取株は頃日來安東地場高と相俟つて田中筋等の買進みに強調を呈しつゝあるが右は何れも安東地場に於ける有力筋の買注文であつて力筋の買煽りに依るものであると傳へられる而して同樣としては旣頭が値頃であり且つ取組關係からも將又浮動株の分布から見るも銀市場の商略による業績の好調等有利の材料がある上に田中筋の買方に有利で於ても繼續さるゝ模樣なるより是れと調ふを合せ近日中彌揚を試むべく某々氏等に依り計畫中なりと傳へられる從つて近く一と相場を現はすに至るや圖り難いと稱されて居る

あるが賣方としては既に多量の拱供株がある上に取組關係も有利であり更に三十五圓米は相當賣物があると傳へられる等何れかと云へば弱材料と見るものが多い丈に今後果して容易に立直り得るかドーカ斯の如く引返しの至難と見らるゝ一面下値はドーカと云ふに既に拔けた相場としては値頃關係から大なる下値は望み難いとせられて居るがマバラ小口の買方がかゝる商狀に對して好し買玉を維持し得るか否かは疑問で人氣は依然買氣を殺して居るが結局は弗々と等小安口買の緣氣を呼んでヂリの商情を續けるの外はないだらうと觀察されて居る

短期喰合內容

二十一日前場現在

▲大新短期四、八八〇代引九七〇賣り方大島一三〇、新田二、三六〇、定岡三七〇、中村二三〇、井口三七〇、金秀二六〇、白樂一五〇買方白井一一〇、洪柱三〇〇、吉見八一〇、金龍五七〇、田中七八〇、川崎一〇〇、南七三〇、市川一、二一〇外五店

▲京取短期三、七〇〇代引二二九〇賣り方吉見五三〇、新田六四〇白樂一四〇外二店買方金龍三四〇、田中八六〇、川崎九三〇、新一〇〇、南三一〇閔二八〇、市川四六〇外七店

▲安取短期二、二八〇代引五二〇賣り方、有田二二〇、白井一〇〇田中五一〇、新田四一〇、中村三〇〇外五店買方田中一、二四〇、南二八〇閔六九〇外二店

算定 京取三十四圓、仁新三十四圓安取十九圓、大新八十八圓

日步 京取十七錢、仁取四十錢、仁新十五錢、朝紡五錢、拓新十錢、滿取逆十錢、安取十錢、大新五十五錢

出來高 ▲長期三十枚累計二萬九千十二枚▲短期四千四百十枚累計十二萬五千四百六十枚

前場手振 ▲京取短期 閔、市川、南、田中彌、新田、趙、白井、洪柱賣三百八十枚▲大新短期 中三百、金秀、白樂、閔、市川、趙、新田、成濟、金龍、有田、白井賣り吉見五百五十、川崎、定岡中村、南賣、千四百枚

現株中値出來値（廿一日）

銘柄	前場 當限	前場 先限	後場 當限	後場 先限
京取 寄	三四・一〇	三四・一四	・・	・・
同引	・・	・・	・・	・・
仁取 寄	・・	・・	・・	・・
新同 寄	三〇・三〇	・・	・・	・・
朝鮮 寄	三六・〇〇	・・	・・	・・
新同 寄	三〇・三〇	・・	・・	・・
殖銀 寄	四五・〇〇	・・	・・	・・
新同 寄	・・	・・	・・	・・
商銀 寄	一〇・三〇	・・	・・	・・
銀行 寄	四〇・三〇	・・	・・	・・
同 寄	二九・五〇	・・	・・	・・
漢銀 寄	三五・五〇	・・	・・	・・
同 寄	六・三〇	・・	・・	・・
銀行 寄	・・	・・	・・	・・
拓殖 寄	八・三〇	・・	・・	・・

銘柄	前場
新同 寄	三三・三〇
鮮土 寄	・・
朝紡 寄	・・
紡織 寄	・・
毛織 寄	・・
京電 寄	三五・〇〇
新同 寄	・・
電興 寄	二〇・〇〇
興産 寄	二五・〇〇
釜山 寄	二九・〇〇
朝郵 寄	二三・〇〇
鐵鋼 寄	・・
南京 寄	・・
金剛 寄	二三・八〇
滿鐵 寄	一〇〇・〇〇
新同 寄	三二・三〇
東拓 寄	・・
新同 寄	・・
勸信 寄	二〇・〇〇

短期取引

銘柄	寄付	大引	高値	安値
京取 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
京取 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁取 前後	・・	・・	・・	・・
新同 前後	・・	・・	・・	・・
朝紡 前後	・・	・・	・・	・・
拓新 前後	・・	・・	・・	・・
安取 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安取 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

前場歩み ▲大新短期八十八圓 [illegible]

仲買店 [illegible]

大阪長期取引

銘柄	廿一日前場寄付	同大引	廿一日後場寄付	同大引
大株	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日糖	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪短期取引

銘柄	寄付	大引
大新	[illegible]	[illegible]
天取	[illegible]	[illegible]

○桑野仲買店 仁川府仲町三丁目 電話長三九番

安東株式

銘柄	後場寄付	大引
大新	二八九・〇〇	二八八・九〇
安取 先 當	一八・七〇 / 一九・〇〇	一八・七〇 / 一九・〇〇
安取 先 當	一八・七〇 / 一八・八〇	一八・三〇 / 一八・五〇

鎭平銀

	前場寄付	大引
當限	一・三二九	一・三二六
先限	一・三三七	一・三三六
廿一日	一・三二五五	一・三三五四

不 京城現物市場仲買人 京城黃金町二丁目一九九番地 市川株式店 電話長一三一〇番 二六五四番

米況（廿一日）

仁川期米

前場煎れ高

休日前阪地の止め高に三十一圓三十五錢と跳返して打止め引縮入氣の小高きに今朝は一段高を頼換へたるも立會へは大阪當三十七圓〇七錢と氣配ボケの移りに當中出來ず先三十一圓二十五錢と十四丁安に寄付

▲第一節 當中出來ず大阪跡〇六錢より二十九錢の移りに先三十五錢に始め小口賣方の煎れ物を呼び五十七錢と跳返し五錢と引

▲第二節 當中出來ず先五十八錢に始め六十錢と更に締りしも戾りは買方の目先手詰めに五十八錢と押し三錢と引

▲第四節 當中出來ず先五十八錢より六十五錢と更に締り小口買方の目先手詰めに六十二錢と小强みせしも當期筋の買進みに阪地高と見る小口の買物を刺戟して六十五錢と跳返して引

▲第五節 當中出〇ず先六十錢より五十錢と締りしも買方の見送りに五十九錢と押し六十二錢と結局持合に引

▲第六節 當中出來ず先二十九圓九十錢より三十圓丁度と返し先一圓五十錢に始め九錢と締りたるも買物薄に二錢と押し五錢と持合ひに引

▲第七節 當中出來ず中二十九圓九十九錢先三十一圓五十五錢と一服氣構に引

京城筋買向ふ

今前場當市場が阪地以上に買上げられたのは阪地の出直りと見たる京城筋及び地場小口の買物輻輳したのに依るもので他に何等の理由はなく地場主力筋は寧ろ欧値買の客態度で取組を增加せんとする傾向かであるから阪地の成行き如何によりては月末迄に第二期戰を開始せらるゝかも知れない

仲買店

仁川米豆取引所仲買人 電話 六五番

月末戰平凡乎

先限の一期戰は旣に終りて昨今當二期戰の準備中であるが未だ表面には之れといふ手筋は現はれて居ない只⑦を中心の强氣一派が中限に俵括りを行ひ賣方の渡さんとする丈けの米は受取る事に決し又その他は殆ど形勢傍觀の態度なるのみか阪地としても買方一派は當限の買玉を先限に向建せる位にて其賣方の山田も手當米を準備せる事とて結局前月の十二限と同樣大受渡しの鬪りには月末戰も平凡に納會を告げるであらうと

正米の大手合

阪地の賣方主力たる神戶の山田一派が當中の手當米として絕へず買注文を寄らし來れる事は縷報の通りなるが昨日⑦仲買店の米穀部にも其の筋の買注文入込み一萬石以上の大商內成立し茲兩三日中に全部積出す筈にて目下盛んに荷役中の模樣である

强氣皮肉觀

株式安と相俟つて一部賣方の捷氣投げに相場は過般の高値より二百丁餘りの暴落を演ずるに到つたが然し一部通氣の間には好箇の押目と見る强硬なる買物が注がれ相場は底意依然强硬である即ち或强氣は曰く現在の相場が前月の高值より二百ふ入氣關係で持てる相場がこんな處に低迷して居るものではない、人氣の低落は兎まで爲制裂を生じた相場低迷の値段と見なし底力の侮り難い點あるのは末だ何が萬一の高値にも相いてないからで群山太邱の延が引合とか正米より割高とかを云爲し買込み來る間は駄目である殊に之れで下げられたら賣方は餘りボロ過ぎる玆で正米も燃へ上り入氣が根幹したら大井を打かも知れないが其れでない限り押目さへ買ふて置けば常立居と同然利は古くなつて買へるであらうと云々と

米界餘聞

相場の皮肉なのは今更始まつた譯ではないが先物の買玉を投げて逆轉賣越しを行ふたかと思ふと相場の奴が必ずと跳返すなど同じ皮肉でもピンと來ると好く徹底して居る▲或る處は少々位無理な事をしても其れが皆利益となつて來る代りに一つ躓つくと次から次へ手違いを生ずるものでこんな時には向を張つて見るのが面白いかも知れない▲然し⑦の金持か斷乎の女房じやないがお顧を見て行くのなら問題はないが中限の買玉が引くに引かれぬ爲め受米の肉果腰を据へ其の身代りとして先限へ宗旨を替へたものとすると同じ向を張るにしても其れ丈の覺悟を極めて乘出さないと先で大きな手違いを生ずる事にならぬとも限らない▲何れにせよ昨今中限に凭れて居る二萬餘の賣米は當分の間定期師の道具米となつて次から次に凭れる事になるかも知れない

賣買差引殘

	賣方	買方
㊀	一二〇〇	二二〇〇
㊂	四九〇〇	[illegible]
㊅	八七〇〇	[illegible]
㊉	一四〇〇	八〇〇〇
[illegible]	三〇〇〇	[illegible]
丸タ	四〇〇〇	[illegible]
丸一	一〇〇〇	二八〇〇
丸米	五〇〇〇	九〇〇〇

後場も强調

	廿一日前場	廿一日後場
寄付	三一・二五	三一・六五
止値	三一・五五	三一・五九
高値	三一・六五	三一・七八
安値	三一・二五	三一・四三
前場公定値		後場公定値
一節	三一・三五	三一・六五
二節	三一・五六	三一・六八
三節	三一・六〇	三一・四九
四節	三一・五六	三一・六一
五節	三一・六二	三一・七四
六節	三一・五七	三一・五九
七節	三一・五五	[illegible]

▲第一節 當中出來ず大阪後寄三十七圓二十九錢の小高を入れ先三十一圓六十五錢と十五錢高に寄付

▲第二節 當中出來ず先三十一圓六十五錢より七十錢と締り六十八錢と引

▲第三節 當中出來ず先六十五錢より大阪の跡安に四十三錢と押し九錢と引

▲第四節 當中出來ず先四十八錢より七十錢と跳返し歩調に七十錢と引

▲第五節 當中出來ず先七十八錢より七十錢と押し七十五錢と引

▲第六節 當中出來ず先五十九錢

限組高 入段 當 先中 限限 [illegible]

出來高 合計 [illegible]

仁川正米

前買の處にて互に折合はず更角商談行惱みの姿である

定期の强硬を受けた正米は丸キ四等三十圓三十錢南市四等三十八圓八十錢地搗玄米二十七圓より八圓擣八錢五原見當の唱へにて閃つた取引出來ず小口當用筋に弗々手合せあるのみにて大豆は龍山物十八圓三四十錢長湍十八圓白川十七圓八十錢唱へになるが產地買物薄の爲め閑散ながら底意は强硬である

釜山正米

現物三十圓八十錢一月末限三十一圓三十八錢より三十五錢三月中限三十一圓五十六錢より五十錢

群山正米

現物卅圓九十錢一月末限三十一圓四十錢二月末限三十一圓六十五錢より七十錢三月中限三十一圓九十錢より九十三錢出來高六萬六千石

大邱正米

現物二十九圓八十錢二月末限三十圓九十錢三月中限三十一圓三十錢より二十錢出來高二萬石

兵庫期米

	廿一日前場	廿一日後場
寄付	三六・〇七	・・
止め	三六・二六	三六・一三

節	
二節	・二九
三節	三一・二
四節	・三一
五節	[illegible]
六節	[illegible]
七節	[illegible]
八節	・二〇
九節	・三一
十節	・一九

下關期米

	廿一日前場	廿一日後場
寄付	・・	・・
止め	・・	・・

桑名期米

	廿一日前場	廿一日後場
當限	・・	・・
中限	・・	・・
先限	三三・六〇 / 三六・四六	三六・二六

	廿一日前場	廿一日後場
寄付	三五・六七	三六・〇七
止め	三五・九九	三六・〇二

東京期米

	廿一日前場	廿一日後場
先寄	三八・九四	三九・〇〇
二節	九・〇四	九・〇〇
三節	九・〇〇	・〇四
四節	・一一	八・〇〇
五節	・一五	九・九七

大阪期米

	廿一日前場	廿一日後場
寄	三五・五〇	三五・六〇
中寄	三五・六六	三五・六五
先寄	三七・三六	三七・〇七
止	三六・四八	三六・四七
先止	三七・〇九	三六・五三
二節	・九六	・二九
三節	・九九	・一七
四節	・二五	・二〇
五節	・二九	・一〇
六節	・三二	・三一
七節	・三二	・九

大阪三品

	廿一日前場寄付	前場大引
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]

	廿一日後場寄付	後場大引
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]

週刊 最新編纂 米豆取引參考書 福 通信 公平にして權威ある總ての強弱材料を蒐輯して御判斷を待つ 仁川 福仲買店調査部

京城穀物

正米現物

人氣は軟弱なるも賣物不潤澤の折柄節季後の搬出時期等を顧慮せられ今朝は定期の高移りを手持筋腰强く合搗四等二十七圓二十錢堆搗玄米上物二十七圓物み持合ひ唱へにて精白一等移出向は仁川著の三十四圓にて取引が行はれた

延

今朝立會前には手仕舞內と新規買の附出し二千石內外ありて立會に移るや期米のヂリ高移りに買氣を唆りて先限三十三圓十五錢の三十一圓〇五錢に始め十錢と締りて〇八錢に打止めたが賣物薄の爲め其の割り手合ひは進なかつた

二月末限三〇七五▲三一〇五〇〇八

大豆

跡賣人氣二十錢に出來し十二月末限し出來値は採算上手一杯の處らしく其れ以上には進み殆ど皆無の姿にて其の他永同十七圓五十錢賣の三十錢賣種州大五十六圓六十錢賣五十錢賣稷山十七圓二十錢賣七圓一

通俗太閤記

松林伯知講演 [illegible]速記

三百五十七回

待設けたる菅谷九右衞門は老體なりと雖も充分に身仕度をなし、織田家の左衞門と共に討死をなさんと覺悟をして討つて出で、大軍の中に暫らく奮戰いたして居りましたが、其內に敵の陣中より乘出したる一人の武者、甲『來』は難波内藏之助の麾下小島三郎右衞門なりイデ見參と掛かる、織田家の左衞門は平『心得たり』と馬を寄せ、小島三郎右衞門と暫らくの間打ち合つて居りましたが、小島は打ち物取つては屈指の勇者、殊に織田家は最前よりの疲れで、遂に取騷せしため乘り東に西に東に奔走せしため遂に三郎右衞門のために討たれて了ひました

既に織田家の左衞門討たれたる樣子を見て熊本の同勢足輕大いに亂れたる樣子、此時菅谷九右衞門大いに怒り、今年六十五歲の老體ながら信長公の手許に長年居つて數ケ度の戰ひに功を現はしたる人でございます、此日は戰死の覺悟をしたることなれば鎧の袖を切つて了ひ投げ棄てとなり、白綾の鉢卷をして薙刀を提げ、向ふ者逃ぐる者の嫌ひなく當るを幸ひ斬つて廻るの有樣は宛然摩利支天の暴れたる如く、其働きを見るより我々先れを討ち取らんと槍合より來る者は大抵谷のために打倒れる有樣、遂に此の有樣を見て居りましたる四方田但馬守大いに怒り『其儀なれば我自ら討ち取り呉れん』と怒ち但馬守馬を乘出し『ヤア／＼菅谷九右衞門とは汝か、イデヤ見參』と聲をかけ『拙者こそは明智日向守光秀の臣四方田但馬守なり、老武者が働き振り面白し、イデヤ勝負』と突き出すを『心得たり』と受止め、二太刀三太刀合せしが、ヤッといふ聲諸共に年兵衞の首を打落す、この働きに但馬守大いに驚いたが、恐ろしき菅谷の働き振り、九右衞門此時早くも手負ひ面白からず、イデヤ組まん』と呼ばゝるに九右衞門に於ても『心得たり』と叫んで組み合ひ雙方得物を投げ棄ててエイオッと引

の樣子を見るより『無禮なり』と喜八郎に討つて掛かる、『心得たり』とあつて喜八郎之を受止め、二太刀三太刀合せしが、ヤッといふ聲諸共に年兵衞の首を討落す、この働きに但馬守大いに驚いたが、此時早くも手負ひて居ること故喜八郎の方に手を出す隙がない但『打物取つての勝負は面白からず、イデヤ組まん』と呼ばゝるに九右衞門に於ても『心得たり』と叫んで組み合ひ雙方得物を投げ棄ててエイオッと引

組んだ、但馬守は明智方でも聞こゆる大力であります、また菅谷も組打に妙を得たる人ではあるが何にせい、最前よりの働きに身體は恐く疲れて居りますから忽ちの間に組敷かれた但『得たり』と突き差さんと思ふ間に鐵の間からグサとばかり首を引き拔き、終に其首を揚げました、斯かる間に明智勢は三條の城の大手搦手より次第／＼に人數を繰入れ、敵と味方の接戰處

所へ五六人にて織田家の手勢を三四人討取りつゝ、九右衞門の首級を取り落したる一人の武者、こ 小寺『喜八郎』は[illegible]

刀を提げて明智勢を左右に薙倒して居りましたが如何にしけん其薙刀の柄が折れたること故、腰の刀を引拔いてきたまた大勢の敵を斬つて廻ると云ふ數を知らず、其中に二條の城は一時に火が移り、其手の者は一勢にエイ／＼聲をして多勢の城は落城をいたすばかりに相成りたる時に、信忠卿は家來を指揮する遑もなく自殺に覺悟を極めて一間の内に入つてホッと息を吐く。

付入り、[illegible]暫らく[illegible]疲れて居り[illegible]、雙方[illegible]したが一方は織田家の臣[illegible]、馬守は明智の家臣[illegible]なりと雖も既に六十餘歲の老人でございます、少しく九右衞門危くなつて來た、此時横合よりパラ／＼と飛んで參つた一人の若武者、鎧兜の手甲もなく裝服を着用して襷を綾取り袴の股立ちを高く取上げ長刀を振るつて打つて掛つたは當年十八歲の若者なるが、菅谷九右衞門を助けて但馬守を討つたと云ふ者、但馬守大いに驚いて一旦逃げ退けッ、――といふ處へ傍らより四方田の家來勝川年兵衞といふ者こ

精良ハム入 ハムパン 一包十錢 明治町 木村屋

仁川手町二丁目 能治齒科醫院 電話三五〇番

京城明治町一丁目 佐々木 胃腸病院 入院隨意 電話本一六五九番

蒲燒

江戶趣味 川長

熱とり藥に

鼠とりを賣る

北信州高井郡[illegible]町[illegible]は北田八百藏（三〇）は風邪に罹つたので長女久江を使ひにやり隣村地の藥屋から鼠取りの藥を買はしめたが子供の使の事とて藥屋の店員は鼠取り藥の上に熱取り藥を賣たので之を熱取り藥と二錢を買つた八百藏は何時ピンを服んでも熱が下らないと思ひ其の後に[illegible]をしたら益々病氣が重くなり近隣の醫者が見ると鼠取り藥の中毒で大急ぎの治療を施したため生命には別條はなかつた（信州）

將棋新手合（二）

於 溝口木將棋所

香落 ▲五段 飯塚勘一郎（東京）
△四段 中島雅之（東京）

圖は前號指了の局面 △持駒 飯塚氏 ナシ

△一六歩▲一四歩△二八玉▲五二金（ハ）△三八銀▲四二銀△七五歩▲九六歩△同歩▲同香△五五歩▲八六歩△同角▲五五角（ニ）△七四歩▲同歩△九四歩▲八四飛

（以下次號）

▲（ハ）五二金は面白からず四二銀と上る方優れり

▲（ニ）五五角は面白からず九九香なる七七桂五五角と指す方面白からず

一月二十二日

（陰曆十二月十七日）水曜 [illegible]

▲二黑……[illegible]
▲三碧……[illegible]
▲四綠……[illegible]
▲五黃……[illegible]
▲六白……[illegible]
▲七赤……[illegible]
▲八白……[illegible]
▲九紫……[illegible]
▲一白……[illegible]

關釜連絡船

發 午前十一時 午後九時三十分

廿二日	朝、德壽丸	夜、昌慶丸	
廿三日	朝、德壽丸	夜、昌慶丸	
廿四日	朝、德壽丸	夜、昌慶丸	

無電具體案の内容　支那軍隊露人採用　三省自治確立協議　新政黨の協議　上院（廿二日）　澁澤子渡米か

甘粕母堂養老金募集

甘粕母堂養老金募集

予は甘粕母堂に同情し、其の老後を慰藉せん爲め、養老金を左の規定に依り、一般同感の諸士より募集す

大正十三年一月十三日

大阪市東區内本町二丁目

發起者　有田音松

規定

一、養老金は一口金參圓以上の事
一、住所、氏名明記の事（必ず楷書）
一、無記名なるも差支なき事
一、期限は大正拾參年貳月拾五日限
一、送附先は大阪市東區内本町二丁目有田音松宛
一、直接御持參相成候向の受附は午前九時より午後四時迄
一、養老金醵出者氏名及金額は全國大新聞紙に掲載する事
　但し此新聞廣告料は養老金に關係せず發起人有田音松之を負擔す
一、養老金は貳月拾五日締切後直に東京市外中澁谷二七二在住の甘粕母堂に贈呈する事
一、右贈呈に關する顛末は新聞紙上に於て之を報告する事

以上

甘粕母堂養老金申込者

一金壹萬圓也　大阪市東區内本町二丁目　有田音松
一金壹千圓也　有田たか子
一金壹千圓也　有田迪夫
一金貳百圓也　有田二郎
一金壹百圓也　有田博夫
一金壹百圓也　有田ひろ子
一金壹百圓也　同有田方　井川廣文
一金五圓也　同　大坪義一郎

小計金壹萬貳千五百五圓也

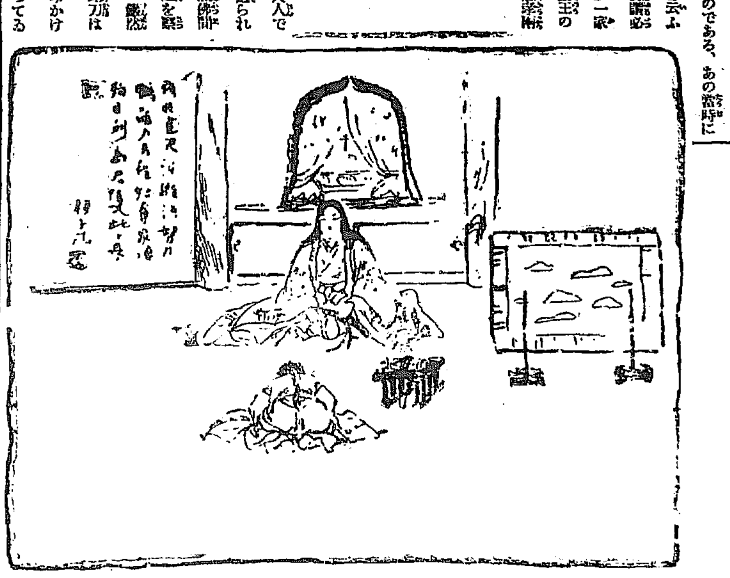
教育美談

忠臣は國家の礎

「三ツ兒の魂百まで」と云ふことがある、幼時の教訓は確に人間一代の運命を支配する偉大なる力がある、而も幼時の訓育は殆ど母の手に依りて爲さるゝのである。茲に於てか母の教育なるものは實に大切なものと云はなければならぬ、正行が後年、忠誠な身を以て勇戰奮闘したのは確に楠公夫人の教訓が與つて力あるのである、あの若年にあつて微少の手勢にて足利討伐を企つるなぞと云ふのは實に死を覺悟しなければ到底出來ない、臨終必死の事業であつた、而も正行は一身の利害とか一家の榮達とか云ふことを眼中に置かずして能く勤王の大義を全うしたのである、正行の如きは眞に忠孝兩全の龜鑑である。

正行の偉功は楠公夫人の賜

本朝無双の忠臣楠正成の妻は非常なる賢夫人であつた、正成湊川に戰死し、その首が河内へ送られた時、長子正行は嘆きてその座に堪へず、突然佛間に驅けゆきて自害せんとした、賢明なる母は之を察知し、走り出でゝ正行の手から刀を奪ひ取り、儼然襟を正して「汝櫻井より還りしは何の爲か、此刀は腹を召せとて父上より下されしものか」と疊みかけて叱りつけた、その母の兩眼には情の露が宿つてゐた、正行は之に勵まされて勁の堅めなき心地、之より勤王するにも足利討伐の目的をして、只管勤王の旗擧をのみ心掛けてゐた、かくて正平四年正月花咲く春をあとに見て、あはれ四條畷の途に忠孝兩全の血を流したのである。若木の楠、二葉より香ばしかつたも一ツはこの賢母の力であつた。



母の教訓と二子の譽れ

女が自分の子の愛に生きるといふ事は人間に通有の事である、イヤ啻に人間ばかりでない、あらゆる生物が皆さうである、「焼野の雉子、夜の鶴」いかにも子の爲には母は全力の愛を注ぐ者である、子供に對する母の慈愛といふものは、眞に熱烈なものである。

されば之そ母として、女として、その子を戰場に出すといふ事は昔から何人も苦しむ所である、而もその愛子を二人迄戰場に赴かしめ自分も亦女の身として危險を顧みず國事の爲に奔走したる、松尾多勢子は如何なる人であつたらうか。

多勢子の眼中には國家あるのみ、皇室あるのみ、その愛兒は國家有事の秋御用に立たしめんが爲に教育したものである、國家の爲に愛兒の生命を犧牲とするは多勢子が平素からの覺悟であつた、何といふ雄々しい心掛であつたか。

パンや、性問題にのみ耽溺する今の新人一派連に戀愛至上主義などといつて狂ひ歩く太子連などに比べると、實に雲泥月鼈の差だ。

多勢子は實に今の世の人々の手本とすべき偉人である。

勤王の女丈夫　多勢子と其二子

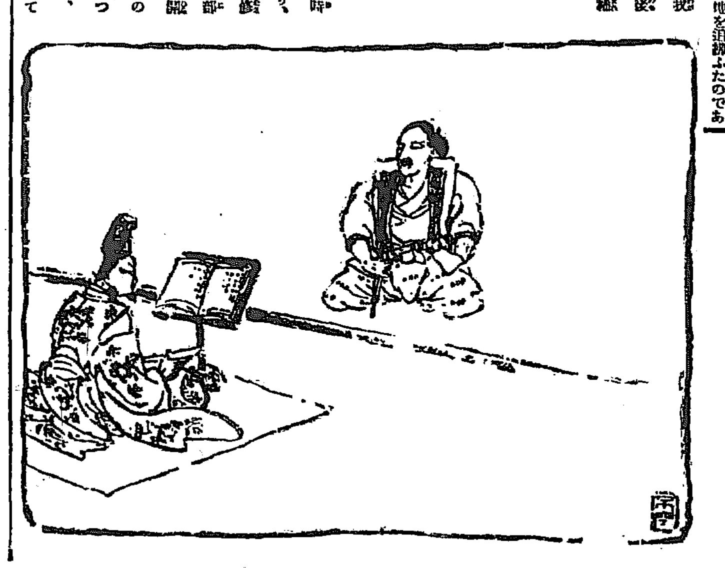
勤王の女丈夫松尾多勢子に二子あり、長男を誠、次男を盛誠といつた、共に母の氣質を受け、母の誠育に薫はれた爲め、勤王の志厚く王事に奔走して殆ど寧日なく、慶應三年水戸の武田耕雲齋、藤田小四郎田丸某等義兵を擧して信州を過ぐる時、多勢子往いて三士に面會、將來の計畫を爲さんとせしに、偶々病を得たので誠をして代り往きてその志を述べしめた、かくて、明治戊辰の正月誠、盛誠の兄弟は母の多勢子と共に西上し、誠は奥羽鎭撫使の先鋒となりて從ひ、盛誠は東山道總督の錦旗の下に忠勤を抽んでたのである、國家の爲を縋つて二子を國事に從はしめた多勢子の感や如何ならん、この母ありてこの子ありで多勢子の如きは、實にこれ維新史上國民の忘る可らざる事の出來ない女丈夫であつた。

大義の爲に何物も怖れず

竹内式部は幕府の專横を憤り尊王の公道を宣傳したるが爲め所司代の糺問を受けた、式部の說は世道人心を迷はすと云ふのである、されどさすがの幕吏も「忠君愛國の思想」は幕府に取つての脅威である、式部が正義の論には何等罰すべき名目がない、其處で「教導宜しからず」と云ふような不得要領な罪名を附して京師の地を追拂ふたのである、式部の眼中たゞ尊王愛國あるのみであつて、我身に禍の來るを顧みるの暇がなかつた、そして後に山縣大貳の件に坐して遠島に處せられたが實に稀なる國士の典型である

身を挺して大義を說く竹内式部

竹内式部は越後新潟の醫者の家に生れた、幼年時代の事は不明であるが、十七八歳にして京都に上り、徳大寺家に仕へながら、若林強齋に就いて學問を修めた、殊に強齋は楠公崇拜の學者であつたから式部は尊王主義に教育された、そして業成つて後塾を開いて盛に尊王の大義を宣傳した、多くの朝臣はその說を喜び、式部の門人となりて其教を受けた、從つて式部の名は志ある人々に依つて喧傳されたが、京都所司代は例の如く、幕府を無視する兇徒として式部を捕へ[illegible]も致し方が無い、「教導宜しからず」との名目で終に式部を畿内關東の地から退去せしめたそして門人たりし公卿も夫々に免職の厄に會ふた、之が世にいふ寶暦事件である、式部は斯の如く罪せられたけれどその持する所は儼たる皇道の大義であつたから、百歳の下炳乎として志士の肺肝を衝くものあり、新潟の白山公園、緑樹鬱蒼たる中に一基の紀念碑となつて不朽の精神を語つてゐる。



口や筆先ばかりの現代のデモ愛國者

現代多くの愛國者は、皇室中心主義や、尊王愛國論を、口や筆でのみ叫んでゐるが、其實は殆ど賣名や賣文が目的であつて、眞に國家を思ふ者は頗る稀である、政治家にしろ、文學者にしろ、彼らにその肆を大にして「忠君愛國」を賣物にこそするが、一身を賭して國難に赴くといつたやうな、積極的功業を樹てた者はない。

元來男子の貴ぶ可きはその所信を斷行する事である、苟くも事國家に關する以上、一身の榮辱の如きは顧みる可きものでない、順逆の公道を過る可きものでない。

藥師寺公義は、主人尊氏の謀叛を企つるに及んで、進退の兩難に陷入つたのである、彼が若し一身一家の榮達をのみ圖らんとしたならば勝算歴々たる主人尊氏に附隨して不逆の矛を交ふ可きであつたが、大義名分を忘れなかつた彼は、皇軍に弓を引くの無道を感悟したのである、かくて彼はその榮辱を度外して終に弓矢を棄てたのである、その心事の高潔なる實に欽慕す可きである。

藥師寺公義　順逆の道を知る

藥師寺公義は足利尊氏の部將であつたが、尊氏謀叛を企つるに及んで、硬直なる公義は面白くない月日を送つた。その中に楠攻めの軍勢を引具して尊氏自ら總大將として河内國へ發向する事になり、公義も陣中に在つたが、諸將士が明日の軍備に忙殺されてゐるにも拘らず公義のみは獨りに歌を詠んでゐる、何だか武道の心掛がないやうに嘲る者もあつたが、公義は決してそんなやくざな人物ではない、武道に於ても相當に名を得てゐるが、心に順逆の理を考へると皇軍に弓を引く氣にはなれない、さりとて主人たる尊氏の命には從はねばならず、進退こゝに谷まつた、そこで彼は一首の歌を遺して弓矢を棄てるのである。

取れば憂し、取らねば人の、數ならず
すつべきものは、弓矢なりけり

順逆無道の尊氏に從つて皇軍に敵對するといふ事は、それが假令榮達の夢を結び得るとも、公義の心には忍び能はぬ所である、武士であるばかりに大義名分を亂して皇上に叛き奉るなどは死しても出來ぬ事と公義は觀念した、そして武士といふ群から身を脱すべく髪を薙つて佛門に投じたのである。大義名分を明かにした公義は實にこの暗黒時代に於ける一異彩であつた。